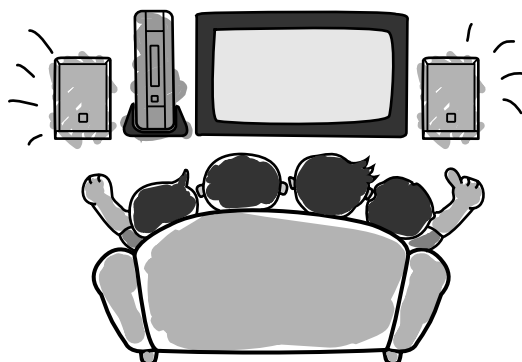
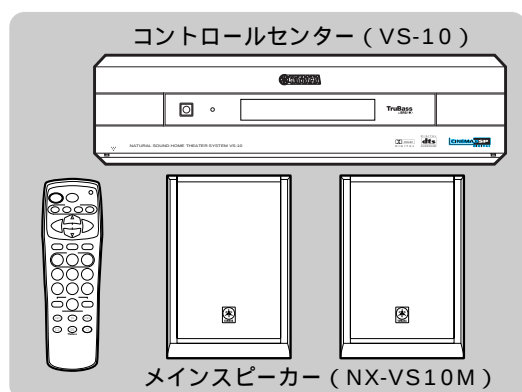




ナチュラルサウンドホームシアター
サウンドシステム

VS-10

取扱説明書



このたびは、ヤマハナチュラルサウンド
ホームシアターサウンドシステムVS-10を
お買い求めいただきまして、まことにあり
がとうございました。

VS-10の優れた性能を充分に発揮させると
ともに、末永くご愛用いただくために、こ
の取扱説明書をご使用の前に、必ずお読み
くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに大
切に保管してください。

特長	2
リモコンの準備	3
安全上のご注意	4
各部の名称	8

スピーカーの置きかた	10
コントロールセンターの取り付けかた	11
接続のしかた	13
テレビ・ビデオなどをつなぐ	14
メインスピーカーをつなぐ	17
コントロールセンターとスーパーウーファーをつなぐ	18
電源コードの接続	18
スピーカーのレベル調節	19

準
備

操作のしかた	21
便利な機能を使う	23
音場プログラムについて	25
音場プログラムの種類	25
音場プログラムを楽しむ	26
メニュー機能の設定	28

操
作

テレビ、ビデオなどを リモコンで操作する	31
コードをプリセットする	31
メーカーコード一覧表	32
テレビを操作する	33
ビデオデッキを操作する	34

リ
モ
コ
ン

用語解説	35
故障かなと思ったら	36
仕様	37
索引	38
ヤマハホットライン サービスネットワーク	39

そ
の
他

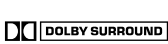
特長

● ホームシアターサウンド

テレビにVS-10を接続するだけで、映画館で味わうような迫力と臨場感が体験できます。

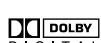
さらに別売のヤマハNX-SW10(スーパーウーファー1台、センタースピーカー1台、リアスピーカー2台)を加えて、重低音の迫力とサラウンド感をお楽しみいただくこともできます。

● ドルビーデジタル、ドルビープロロジック、dtsデコーダー搭載



または **DOLBY DIGITAL** または **DOLBY SURROUND** または **dts** マークのついたソフトの音場を再現します。

● バーチャルサラウンド(バーチャルドルビーデジタル対応)



または **DOLBY DIGITAL** または **DOLBY SURROUND** または **dts** マークのついたソフトの再生では、VS-10のみでドルビーまたはdtsに応じた仮想サラウンド音場が生まれます。音の移動感や臨場感豊かなサラウンド音に包まれたバーチャルサラウンドの世界をお楽しみください。

● ヤマハシネマDSPなど8種類の音場プログラム

映画、コンサート、スポーツ観戦からゲームまで、いろいろなソースに迫力と臨場感を与える音場プログラムは、別売のヤマハNX-SW10を加えることで8種類にひろがります。またサイレントシアターモードによって、ヘッドホンでもバーチャルサラウンドをお楽しみいただくことができます。

● ユニバーサルリモコン

本機だけでなく、コードをプリセットするだけでヤマハ、他社を問わず他の機器もあわせて操作できます。本機とともによくお使いになるテレビやビデオ機器などのコードをプリセットすることをおすすめします。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGICおよびダブルD記号 **DD** は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992～1997年
ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



DTS Technology LLCからのライセンスに基づき製造されています。

さらに、以下のPCT(特許協力条約)US95/0059に由来する米国特許5,451,942および米国内特許出願によるライセンスを受けています。米国特許および外国特許を追加出願中です。

“DTS”はDTS Technology LLCの商標です。

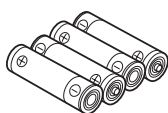
なお、これらの一部または全部を許可なしに複製することはできません。

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

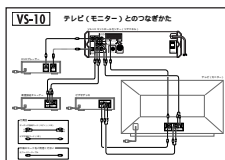
リモコン



単4乾電池 4本

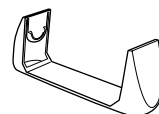


簡易接続図(1枚)

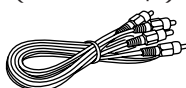


コントロールセンター
取り付け部品

縦置きスタンド×1



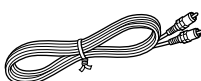
オーディオ接続コード(2ピン)
(1.5m:1本)



縦置き用パッド×2



ビデオ接続コード
(1.5m:1本)



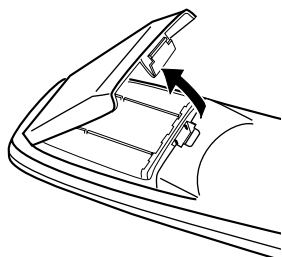
横置き用パッド×4



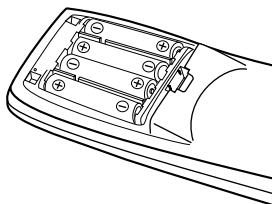
リモコンの準備

乾電池を入れる

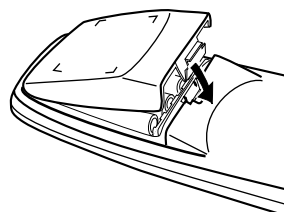
① 裏ぶたをはずす。



② 単4乾電池(4本)の⊕ ⊖を正しく入れる。



③ 裏ぶたを閉める。



乾電池のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれが起きたり破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

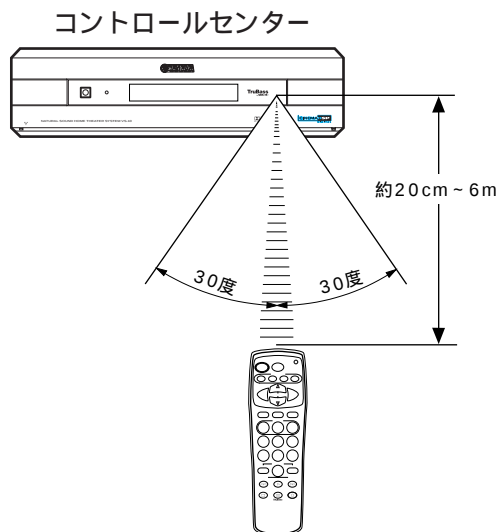
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しないでください。
- 種類のちがう乾電池をまぜて使用しないでください。同じ形状でも性能や電圧の異なるものがあります。

- 乾電池が使えなくなったり、リモコンを長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

メーカーコードの保持について

乾電池は、使えなくなる前に早めに交換してください。乾電池の寿命がなくなったり、乾電池を取り出した場合、お客様ご自身でプリセットされたメーカーコードは約2分間保持されますが、2分以上経過すると消える場合がありますのでご注意ください。

リモコンの使用範囲



乾電池の交換時期は

リモコン操作できる距離が短くなったときは、乾電池を4本とも交換してください。

リモコン取扱上の注意

- コントロールセンターのリモコン受光窓とリモコンの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、湿度の高いところには置かないでください。
- 受信部に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっているとリモコンが働きにくくなります。照明または本体の向きを変えてください。
- 他の機器のリモコンを同時に使うと、操作できないことがあります。

安全上のご注意 （安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



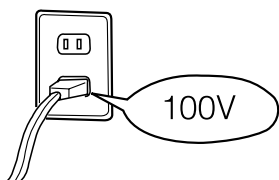
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

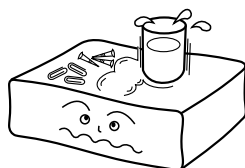
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



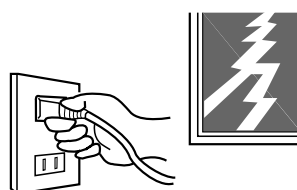
火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⊘ 水や金属類を入れたり、ぬらさない



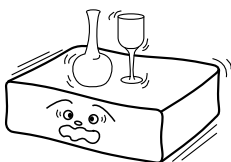
火災・感電の原因となります。
本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。また、本機を水滴などが落ちる場所に設置しないでください。

- ⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



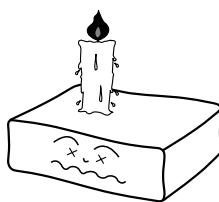
感電の原因となります。

- ⊘ 陶器やガラス類などを置かない



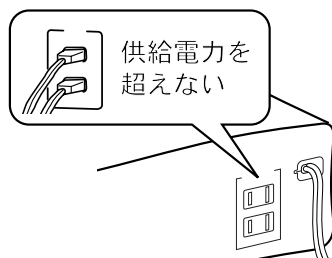
振動により落ちたり、倒れたり、割れたりするとケガをする恐れがあります。

- ⊘ 火のついたローソクなどを置かない



火災・感電の原因となったり、火傷をする恐れがあります。

- ⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



火災の原因となります。
接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱器具、ヘアドライヤー、電子レンジなど)は接続しないでください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



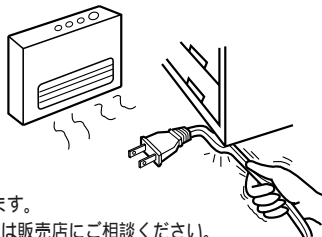
分解・改造を絶対しない
(キャビネットをはずすことも含む)



火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



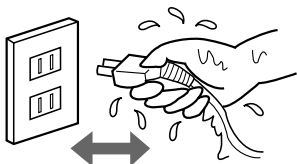
電源コード・プラグを破損するようなことをしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



火災・感電の原因となります。
・コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。



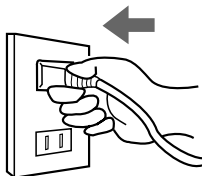
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。



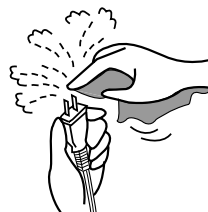
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
・抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。
・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。



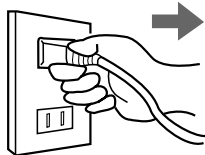
電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



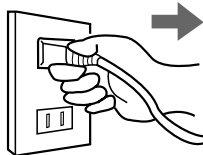
機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



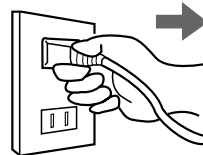
煙が出たり変なおいや音が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

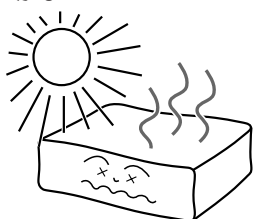
安全上のご注意



注意

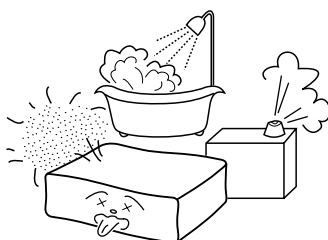
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



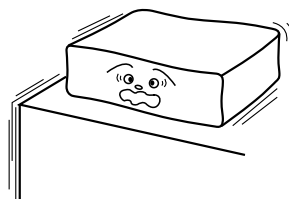
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



加湿器を使用する場合は、本機との間に十分なスペースをとり、加湿しすぎないようにしてください。本機内部に結露が生じると故障だけでなく、火災・感電の原因となることがあります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

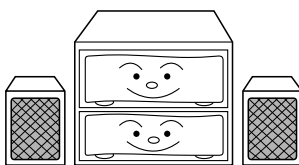
- ⊘ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点に注意してください。

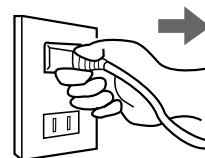
- ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ❗ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



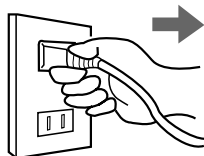
火災・故障の原因となることがあります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、左右10cm、背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- 🔌 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



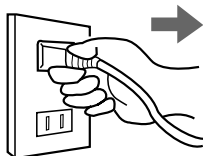
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- 🔌 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



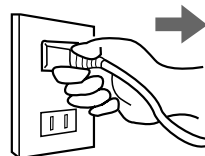
コードが傷つくと火災・感電の原因となることがあります。

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

- 🔌 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



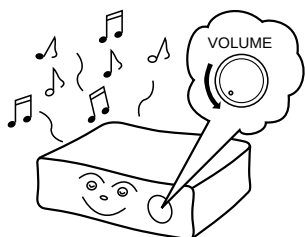
火災の原因となることがあります。



注意

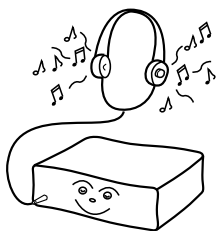
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 電源を入れる前には音量を最小にする



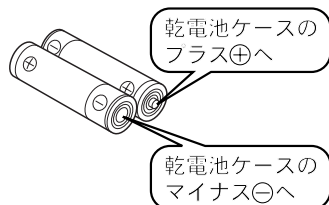
電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- ⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となることがあります。

- ⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$)通りに入れる



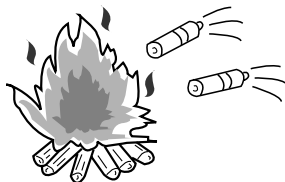
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ⊘ 指定以外の乾電池は使用しない



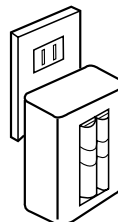
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因となることがあります。

- ⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因となることがあります。

- ⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

各部の名称

コントロールセンター前面

主電源キー→21ページ

本機の電源を入/切します。別売のヤマハNX-SW10をつないでいる場合は、本機の電源を切るとスーパーウーファの電源も切れます。リモコンの電源キーで電源を切ると、待機インジケータが点灯します。

待機インジケータ

待機インジケータの点灯中も、本機はリモコンからの信号を受けられるようにわずかな電力を消費します。

音場切換キー→26ページ

入力切換キー→21ページ

音量+ / - キー→21ページ

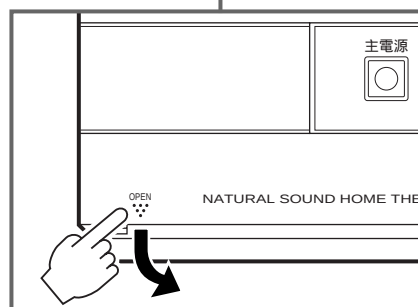
デジタル2入力端子

デジタル2 / ビデオ2映像入力端子

ビデオ2 / 音声入力端子

ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続するとスピーカーからは音が出ません。



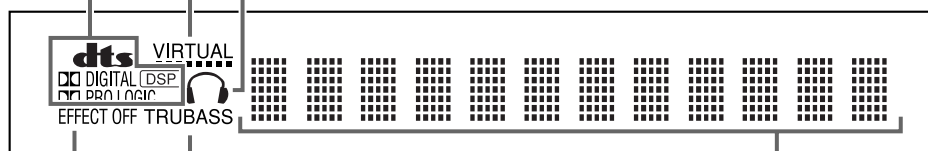
フロントドアの開けかた
ドアの左下にある「OPEN」部を下へ押します。必要のないときは、元に戻します。

表示窓 • 本機を操作するたびに表示が数秒間明るく点灯するので、操作がはっきり確認できます。

プロセッシングインジケータ
→27ページ

VIRTUAL (バーチャルサラウンド)
インジケータ

ヘッドホンインジケータ
ヘッドホンを接続すると点灯します。

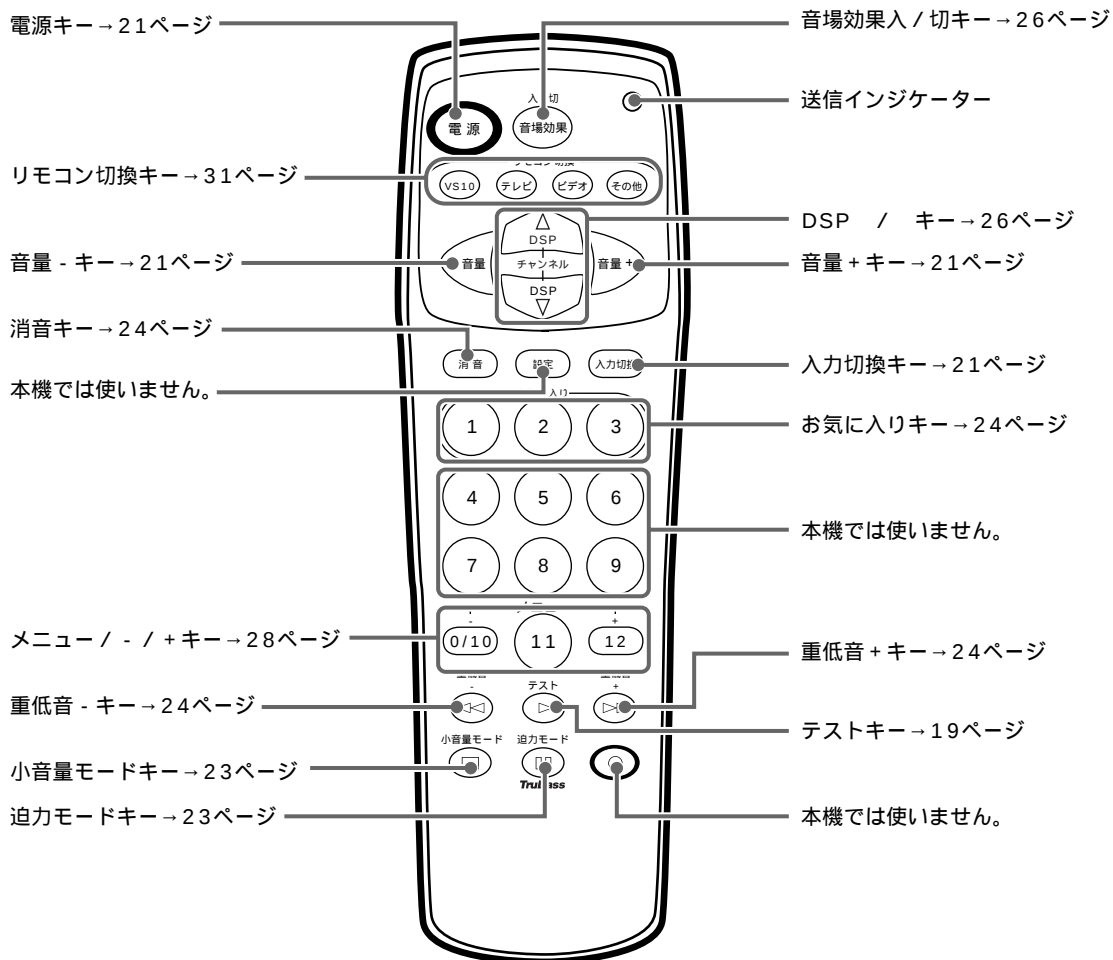


EFFECT OFF (エフェクトオフ)
インジケータ
音場効果を切ると点灯します。

TRUBASS (トゥルーベース)
インジケータ→23ページ

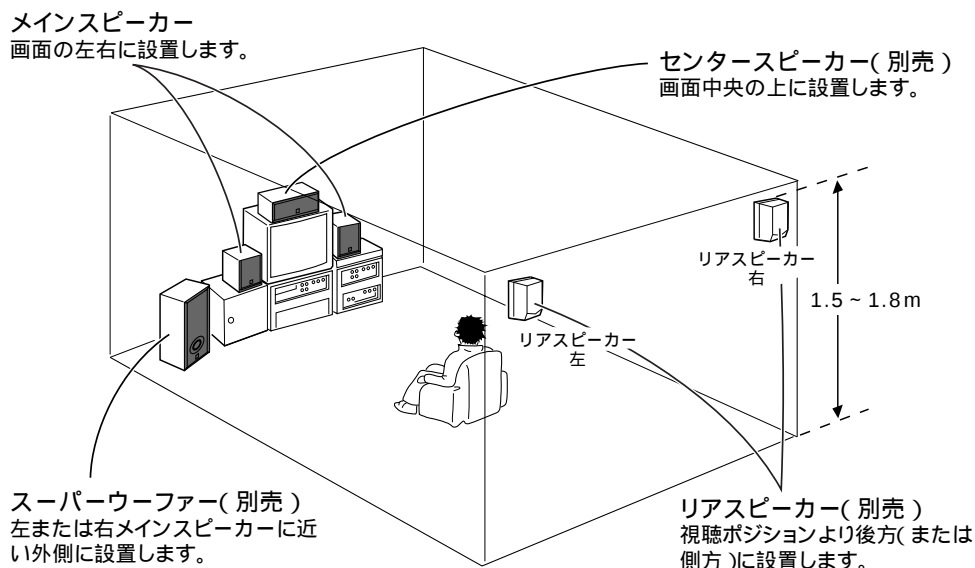
音場プログラム名 / レベル / 操作表示

リモコン



スピーカーの置きかた

スピーカーは下図のような位置関係が理想ですが、厳密にそろわなくても十分な効果が得られます。



メインスピーカー

メインスピーカーはテレビの左右に置きます。視聴ポジションに座ったとき、顔と同じ高さになるように設置すると効果的です。

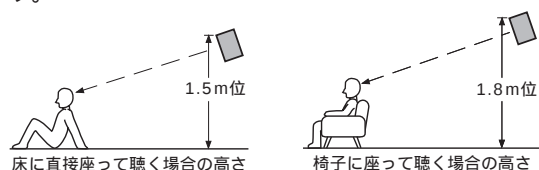
別売のヤマハセンタースピーカー NX-VS10C センタースピーカーはテレビ画面とスピーカーの前縁をそろえ、テレビの上に取り付けます。

テレビの上に設置できないときは、テレビの下のラック内などできるだけテレビ画面の近くに設置してください。

別売のヤマハ リアスピーカー NX-VS10E

別売のヤマハ NX-VS10Eは、お部屋の状況に合わせて棚に置いたり、壁に掛けることもできます。

スピーカーの高さは、床に直接座って聴く場合床から1.5m位、椅子に座って聴く場合1.8m位が適当です。

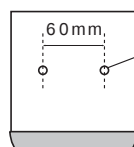


別売のヤマハ スーパーウーファー SW-VS10 左右どちらかの外側で、壁の反射を防ぐため、少し内側に向けて置きます。低音の聴こえかたは、スーパーウーファーを置く位置と聴く位置の両方に影響を受けますので、設置場所を変えてお試しください。

！ ご注意 ！

- メインスピーカーは防磁タイプですが、テレビの近くで置くとテレビ画面に色むらが起きる場合は、スピーカーとテレビの位置を調整してください。
消磁機能のあるテレビをご使用の場合は、次のように対処してください。
1. テレビの電源を切る。
2. しばらくたってから、もう一度テレビの電源を入れる。
- 放熱を良くするために、スーパーウーファーは上面10cm、背面10cm、側面10cm以上の隙間を空けて設置してください。

メインスピーカー底面の穴を利用して市販のスピーカースタンドなどに取り付けることもできます。



直径4mmのネジを使うことができます。
(ネジ穴の深さ：8mm)

コントロールセンターの取り付けかた

コントロールセンターは縦置きと横置きの両方に対応しています。お部屋の状況に合わせた置き方を選び、コントロールセンターを設置してください。

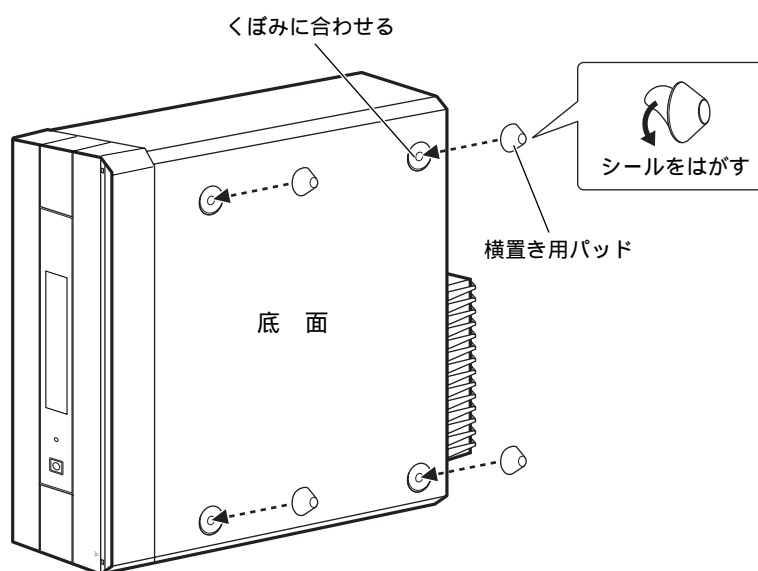
設置前のご注意

- パッドのシールをはがした後、接着面には触れないでください。接着強度が弱くなります。
- パッドを貼る部分はきれいに拭いておいてください。ほこりや油、水などが付着していると、接着強度が弱くなります。

コントロールセンターを横置きにする

コントロールセンターの底面に付属品の横置き用パッドを4つ取り付けます。

横置き用パッドのシールをはがし、コントロールセンターの底面部にある4つのくぼみ（ネジ止めされている）に貼る



！ ご注意 ！

- 横置きにするときは必ず横置き用パッドを取り付けてください。そのままコントロールセンターを設置すると、フロントドアが開きません。
- 横置き用パッドは、必ず底面のくぼみ（ネジ止めされている）に取り付けてください。上面にあるくぼみには取り付けないように注意してください。

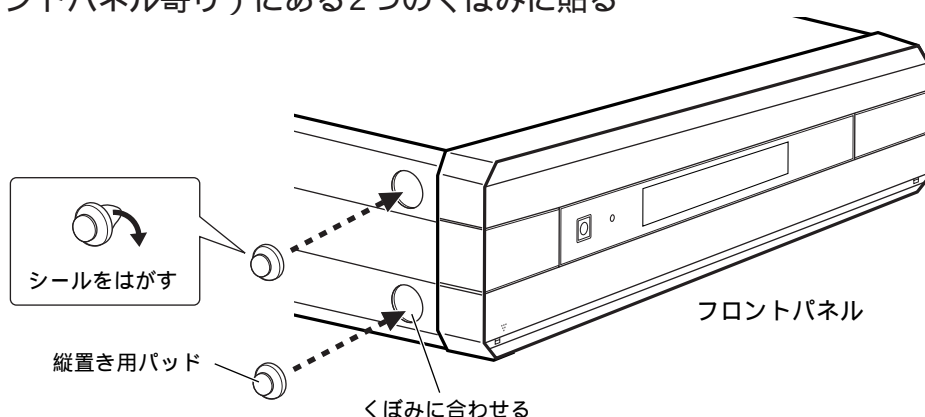
コントロールセンターの取り付けかた

コントロールセンターを縦置きにする

コントロールセンターの側面に付属品の縦置き用パッドを2つ取り付けてから、付属品の縦置きスタンドに設置します。

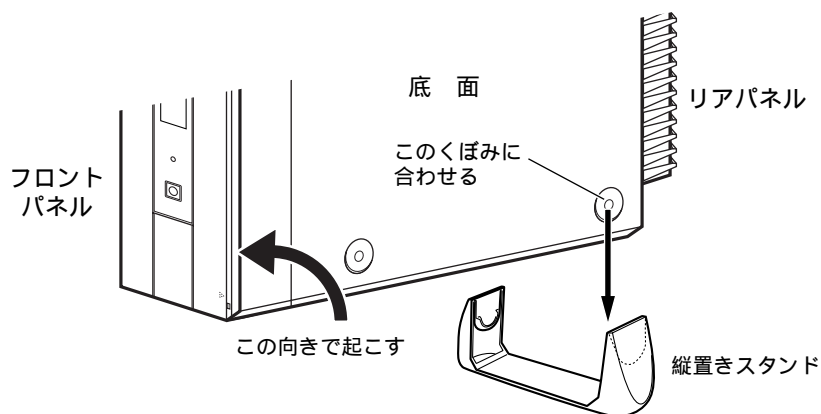
1

縦置き用パッドのシールをはがし、コントロールセンターの左側面（フロントパネル寄り）にある2つのくぼみに貼る



2

パッドを貼った側面を下に向け、リアパネル寄りにある横置きパッド用のくぼみにスタンドを合わせて差し込む



- 縦置きスタンドだけで使用すると、コントロールセンターが水平にならず、フロントドアも開きません。必ず縦置き用パッドを取り付けてください。

！ ご注意 ！

- 向かって左側（主電源があるほう）を必ず下にして立ててください。
- 棚などの高い場所に縦置きで設置する場合は、端近くに置かないでください。

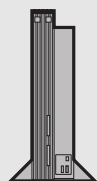
接続のしかた

正しい接続のために

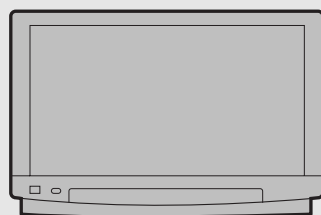
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- 音声信号の左/L端子(白)には接続コードの白のプラグを、右/R端子(赤)には赤のプラグを接続します。
- プラグは、しっかり差し込んでください。しっかり差し込まれていないと音が出なかったり雑音の原因となります。
- 接続する機器によっては接続方法や端子名が異なることがありますので、それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続が終わったら正しく配線されているか、もう一度お確かめください。

16ページ

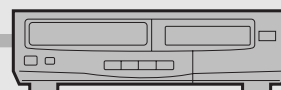
テレビゲーム機、
DVDプレーヤー、
ビデオカメラなど



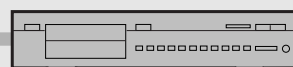
14~15ページ



テレビ(モニター)

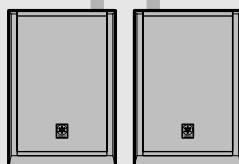
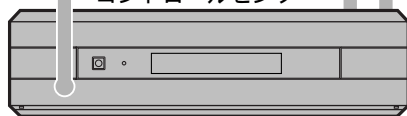


ビデオデッキなど

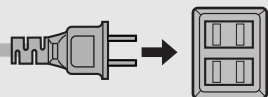


DVDプレーヤーなど

コントロールセンター

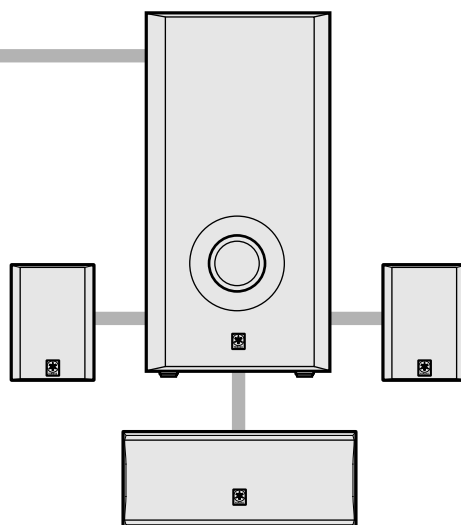


メインスピーカー



家庭用電源コンセント
AC100V 50/60Hz

18ページ



ヤマハ スーパーウーファー/センタースピーカー/
リアスピーカー NX-SW10 (別売)

17~18ページ

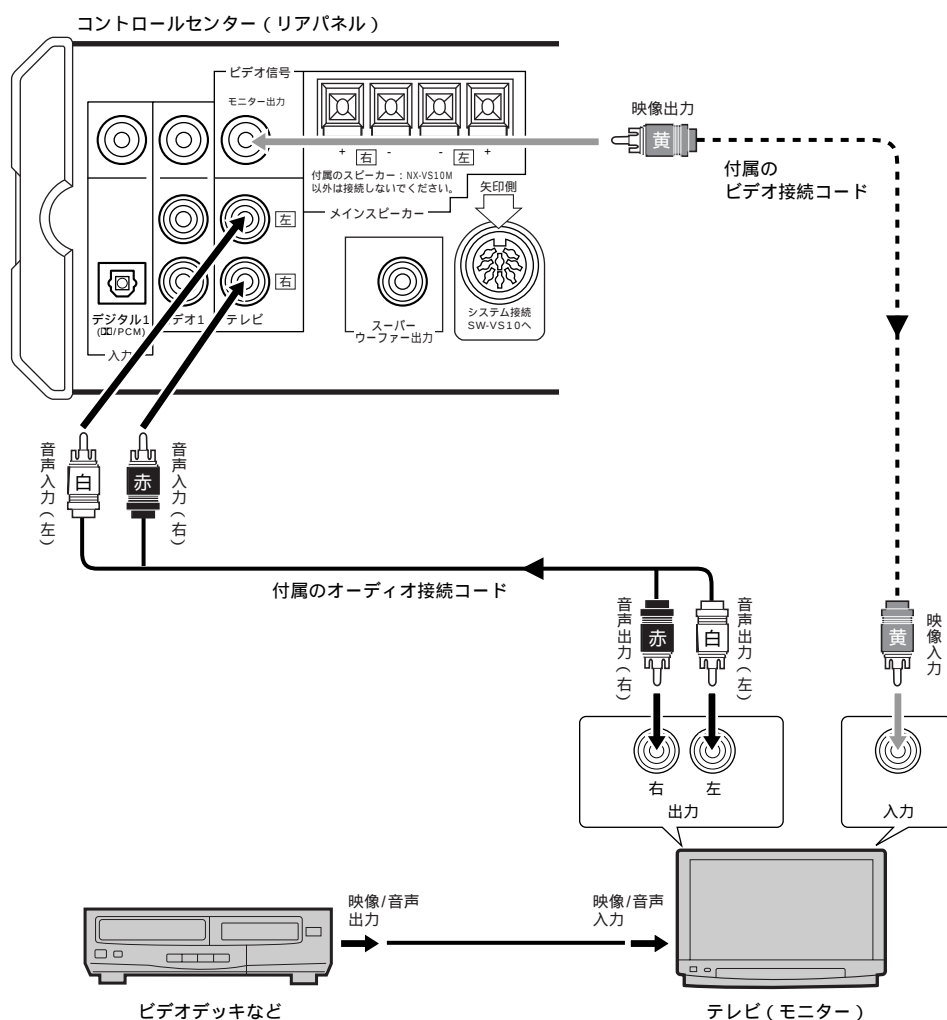
接続のしかた

テレビ・ビデオなどをつなぐ

テレビ（モニター）とのつなぎかた

付属のオーディオ接続コードを使って、テレビ（モニター）の音声出力端子とコントロールセンターのテレビ音声入力端子を接続し、付属のビデオ接続コードを使って、テレビ（モニター）の映像入力端子とコントロールセンターのモニター出力端子を接続します。

- テレビからの音声はコントロールセンターに接続したスピーカーから聞こえます。（テレビのスピーカーからも聞こえますが、本機の効果を十分に楽しむためにはテレビの音量をしぼることをおすすめします。）
- DVDプレーヤー、衛星放送チューナー、ビデオカメラ、テレビゲーム機などの映像出力端子をコントロールセンターに接続した場合（15～16ページ）これらの機器の映像を見るためには、テレビ（モニター）側の入力設定をコントロールセンターのモニター出力と接続した映像入力端子に合わせて切り換えてください。
- 音声出力端子のないテレビ（モニター）は接続できません。



接続のしかた

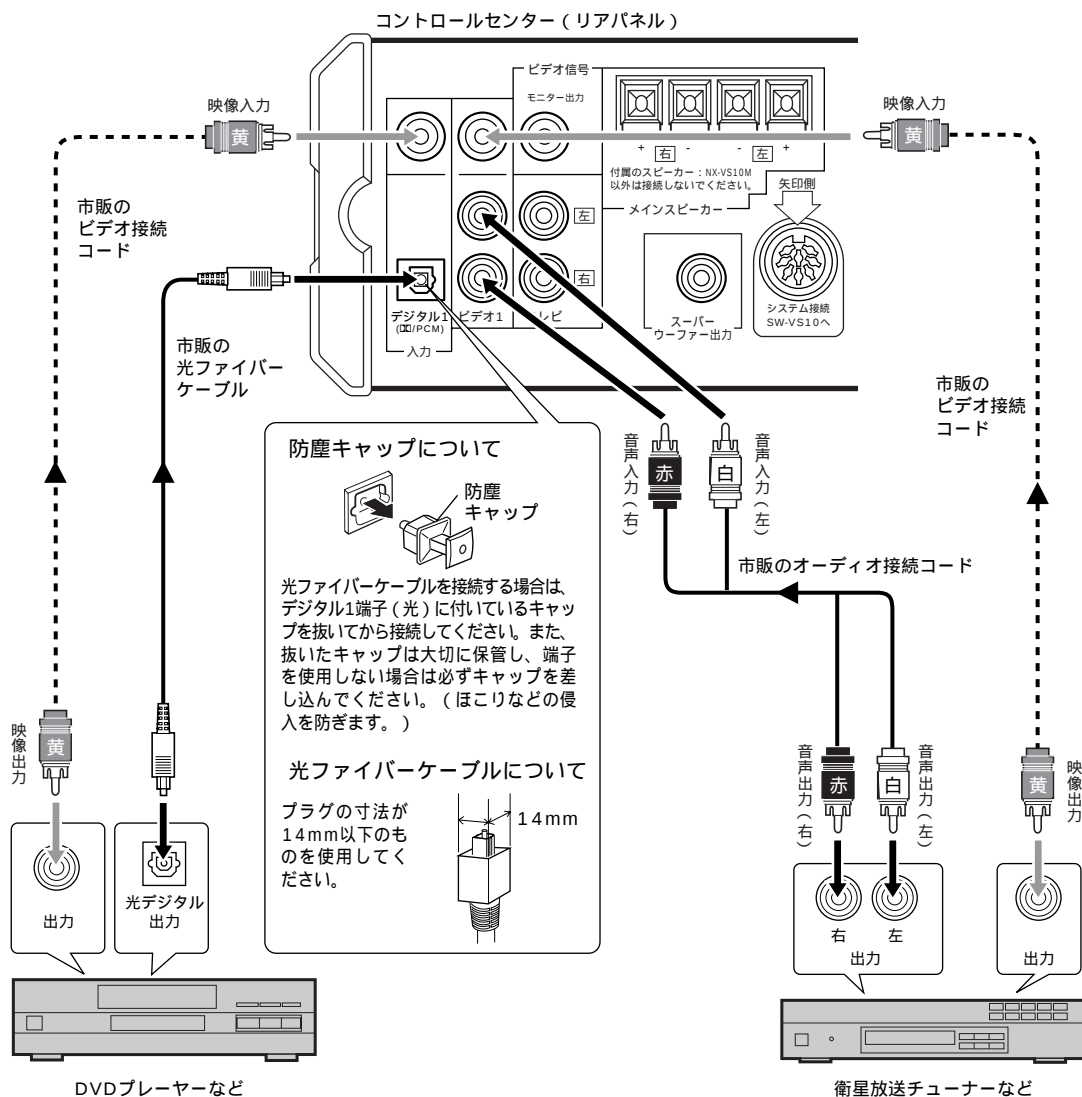
DVDプレーヤー、衛星放送チューナーなどのつなぎかた

DVDプレーヤーなどの光デジタル出力端子とコントロールセンターのデジタル1(光)入力端子を市販の光ファイバーケーブルを使って接続します。この接続により、デジタル音声をお楽しみいただけます。

衛星放送チューナーなどでデジタル出力端子がない機器の場合は、市販のオーディオ接続コード(2ピン)を使って、アナログ音声出力端子とコントロールセンターのビデオ1アナログ音声入力端子を接続します。

また、市販のビデオ接続コードを使って、DVDプレーヤーの映像出力端子をコントロールセンターのデジタル1映像入力端子に、衛星放送チューナーの映像出力端子をコントロールセンターのビデオ1映像入力端子に接続できますが、これらの機器にS映像出力端子がある場合は、テレビ(モニター)のS映像入力端子に直接接続することもできます。S端子接続により、より質の高い映像が得られます。

- DVDプレーヤー、衛星放送チューナーなどの音声はコントロールセンターに接続したスピーカーから聞こえ、テレビのスピーカーからは聞こえません。コントロールセンターの電源を切るとDVDプレーヤー、衛星放送チューナーなどの音声は聞こえません。
- 本機では録音、録画はできません。



接続のしかた

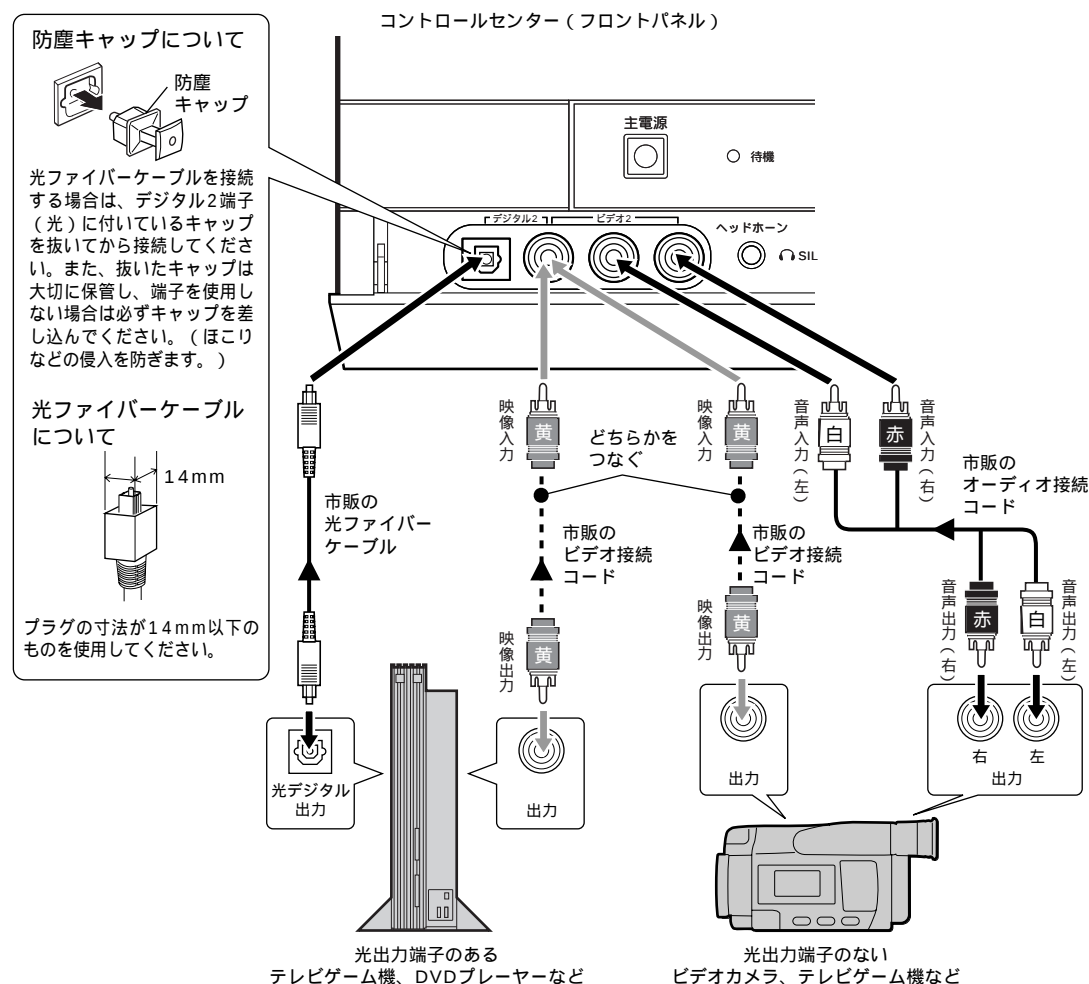
ビデオカメラ、テレビゲーム機などのつなぎかた

テレビゲーム機やDVDプレーヤーに光デジタル出力端子がある場合は、コントロールセンターのデジタル2(光)入力端子に市販の光ファイバークーブルを使って接続します。この接続により、デジタル音声をお楽しみいただけます。

デジタル出力端子がないビデオカメラやテレビゲーム機をつなぐ場合は、市販のオーディオ接続コード(2ピン)を使って、アナログ音声出力端子とコントロールセンターのビデオ2アナログ音声入力端子を接続します。

また、市販のビデオ接続コードを使って、テレビゲーム機またはビデオカメラなどの映像出力端子をコントロールセンターのデジタル2(ビデオ2)映像入力端子に接続できますが、これらの機器にS映像出力端子がある場合は、テレビ(モニター)のS映像入力端子に直接接続することもできます。S端子接続により、より質の高い映像が得られます。

- テレビゲーム機、ビデオカメラなどの音声はコントロールセンターに接続したスピーカーから聞こえ、テレビのスピーカーからは聞こえません。コントロールセンターの電源を切るとテレビゲーム機、ビデオカメラなどの音声は聞こえません。
- 本機では録音、録画はできません。



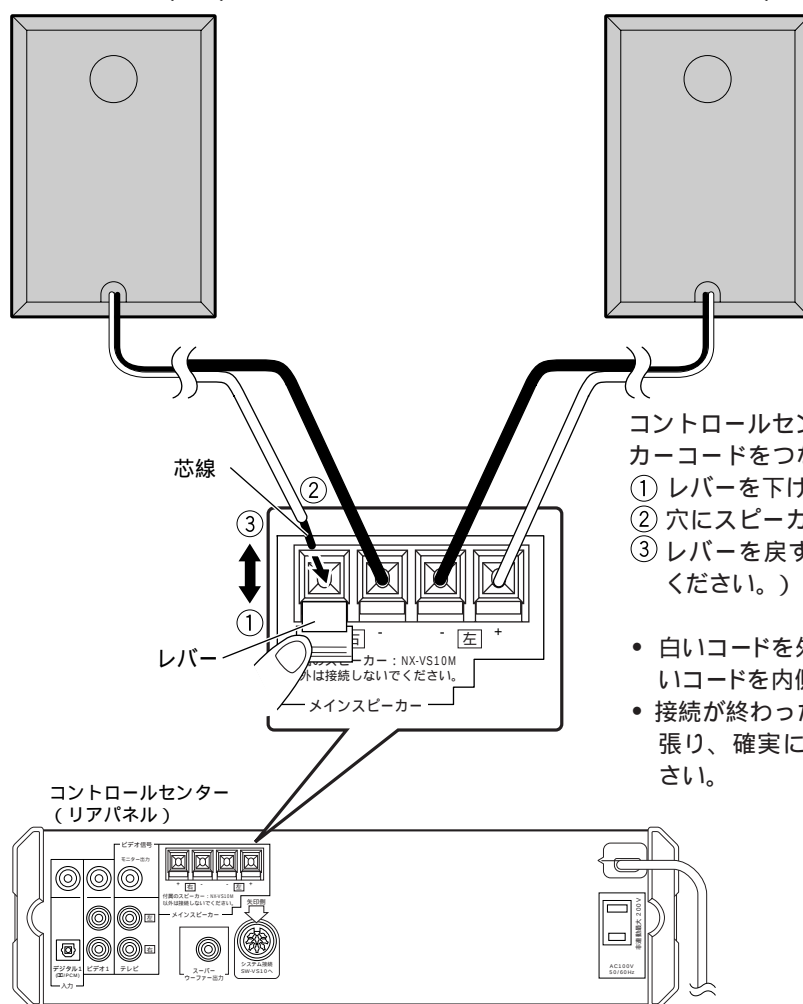
メインスピーカーをつなぐ

メインスピーカーとコントロールセンターを接続します。

- コントロールセンターのスピーカー端子には同梱のメインスピーカー(NX-VS10M)以外は接続しないでください。他のスピーカーを接続した場合、故障の原因になります。

右メインスピーカー（背面）

左メインスピーカー（背面）



コントロールセンターのスピーカー端子にスピーカーコードをつなぐ

- ① レバーを下げる。
- ② 穴にスピーカーコードの芯線を差し込む。
- ③ レバーを戻す。(カチッと音がするまで戻してください。)

- 白いコードを外側の+端子(赤)に接続し、黒いコードを内側の-端子(黒)に接続します。
- 接続が終わったらスピーカーコードを軽く引っ張り、確実に接続されているか確認してください。

！ ご注意 ！

- スピーカーコードはプラス(+)とマイナス(-)を間違えないように接続してください。
- スピーカーコードはプラス(+)とマイナス(-)がショート(接触)しないように、しっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、音が出なかったり、雑音が出たり、スピーカーをいためる原因となります。
- スピーカーコードは芯線部分だけを端子の穴に接続します。コードの絶縁部分(ビニール)まで差し込むと音は出ません。
- スピーカーコードは手や足に引っかからないよう、固定してください。

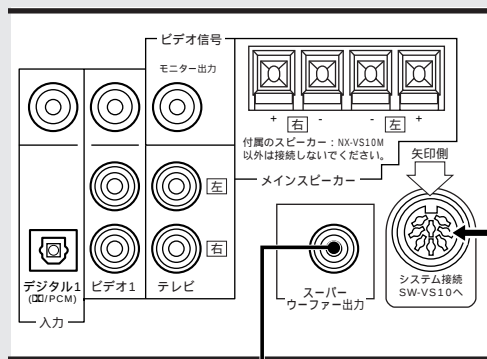
接続のしかた

コントロールセンターとスーパーウーファーをつなぐ

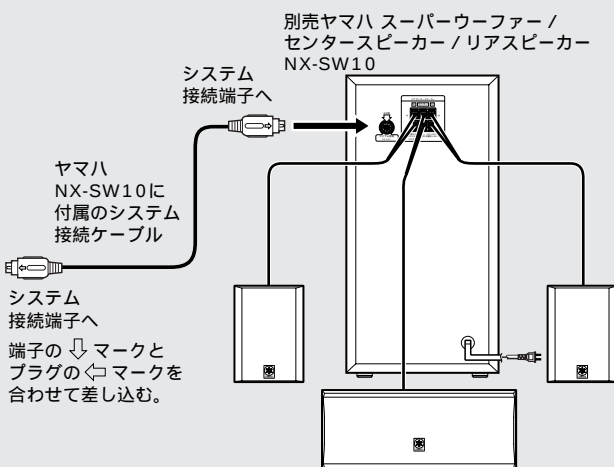
VS-10のみでも十分に臨場感あふれる音を再生できますが、さらにスーパーウーファーを加えると重低音の迫力をお楽しみいただけます。

別売のヤマハ スーパーウーファー / センタースピーカー / リアスピーカー NX-SW10をつなぐと重低音に加え、サラウンド効果が高まります。

コントロールセンター（リアパネル）



お手持ちのスーパーウーファーを接続する場合は、市販のオーディオ接続コード（1ピン）を使って、スーパーウーファーの入力端子とコントロールセンターのスーパーウーファー出力端子を接続します。

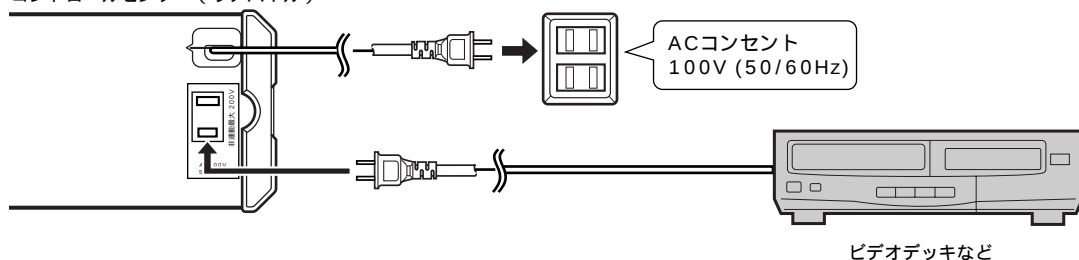


メモ

- コントロールセンターの電源を切ると、ヤマハ スーパーウーファー SW-VS10の電源も切れます。
- くわしい接続については別売のヤマハ スーパーウーファー / センタースピーカー / リアスピーカー NX-SW10またはお手持ちのスーパーウーファーの取扱説明書をご覧ください。

電源コードの接続

コントロールセンター（リアパネル）



接続が終わったら、もう一度確認してください。
最後にコントロールセンターの電源コードのプラグを、家庭用ACコンセント（100V 50/60Hz）に差し込みます。

コントロールセンターリアパネルの電源コンセント

ビデオデッキなど、消費電力が200Wまでのオーディオ・ビデオ機器の電源プラグをつなぐことができます。

コントロールセンターの電源スイッチとは無関係にねに電源を供給することができます。

スピーカーのレベル調節

ドルビーデジタル、ドルビーサラウンドまたはdtsのソースを再生するとき、これらの音場効果を十分に発揮させるには各チャンネルの音量(出力レベル)が同じになるように調節する必要があります。また、他の音場プログラムで再生するときも、それぞれの音場の持ち味を引き出すことができます。

VS-10のみのときは、左右リアバーチャルチャンネルの音量が左右メインチャンネルと同じになるように調節します。(リアバーチャルの音は仮想的なもので、後方にリアスピーカーがあるかのように聞こえます。)

NX-SW10をつないでいるときは、センターチャンネルおよびリアチャンネルの音量が左右メインチャンネルと同じになるように調節します。

再生の前に次の手順にしたがって、スピーカーレベルの調節を行ってください。

準備

1

電源キーを押して電源を入れる



待機インジケータが点灯しているときは、リモコンの電源キーで電源が入りますが、主電源が切れているとき(待機インジケータが消えているとき)は、本体の主電源キーを押して電源を入れます。

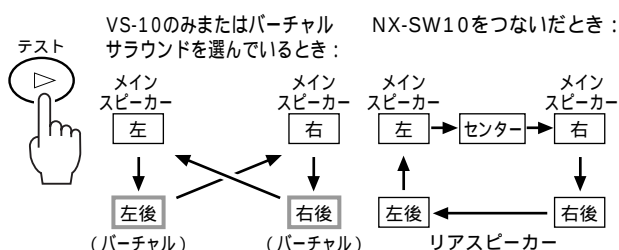
！ ご注意 ！

別売NX-SW10を本機に接続している場合、前もってスーパーワッファースW-VS10の電源コードのプラグをコンセントに差し込んでから、本機の電源を入れてください。

2

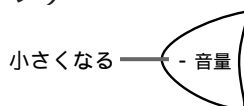
テストキーを押す

テストトーンが次の順序で聞こえます。

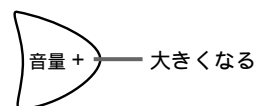


3

音量 + または - キーでテストトーンの音量を調節する(通常お聞きになる音量にします)



小さくなる



大きくなる

音量 + キーを押すと音が大きくなり、- キーを押すと小さくなります。

スピーカーのレベル調節



4

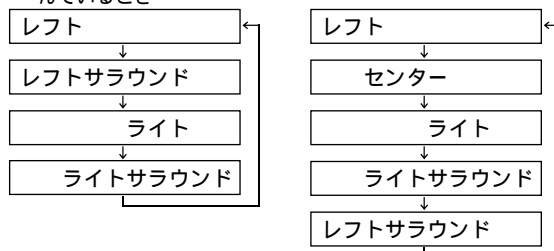
テストトーンを聞きながら各チャンネルのレベルを調節する

左右メインチャンネルを調節する	左または右メインチャンネルからテストトーンが出ているとき	大きくするには
センターチャンネルを調節する (NX-SW10をつないだとき)	センターチャンネルからテストトーンが出ているとき	小さくするには
左右リアチャンネル(または左右リアバーチャルチャンネル)を調節する	左または右リアチャンネル(または右リアバーチャルチャンネル)からテストトーンが出ているとき	

テストトーンが出ているときの各チャンネル表示

A : VS-10のみ、またはバーチャルサラウンドを選んでいるとき

B : NX-SW10をつないだとき



VS-10のみのときは、左右リアバーチャルチャンネルの音量が左右メインチャンネルと同じになるように調節します。

NX-SW10をつないでいるときは、センターチャンネルおよびリアチャンネルの音量が左右メインチャンネルと同じになるように調節します。

- 左右メインチャンネルを調節した場合は、センターおよび左右リアチャンネル、またはリアバーチャルチャンネルの音量をもう一度調節してください。
- リアバーチャルチャンネルは左右別々には調節できません。片方のチャンネルを調節するともう一方のチャンネルも同じレベルになります。
- ヘッドホンを接続している場合、テストトーンはAの順番で切り換わりますが、左右メインチャンネルの調節はできません。左右リアチャンネルのみ調節できますが、左右別々には調節できません。(調節範囲：-3 ~ +3dB)

メモ

音量は次の範囲で調節できます。

VS-10のみ、またはバーチャルサラウンドを選んでいるとき

左右メインチャンネル：-10 ~ ±0dB

リアバーチャルチャンネル：-3 ~ +3dB

メインチャンネルは-10dBで、リアバーチャルチャンネルは-3dBで音量が最小になります。

NX-SW10をつないだとき

左右メインチャンネル：-10 ~ ±0dB

センターチャンネル：-20 ~ +6dB

左右リアチャンネル：-20 ~ +6dB

メインチャンネルは-10dBで、リアチャンネルとセンターチャンネルは-20dBで音量が最小になります。

5

テストキーを押す



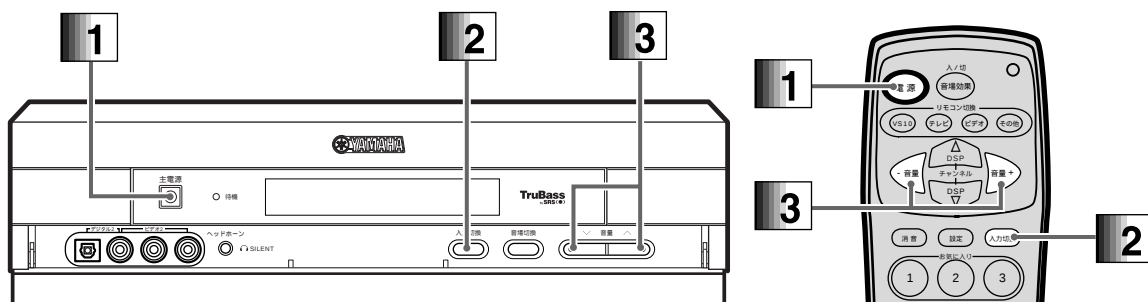
テストトーンが消えます。

操作のしかた

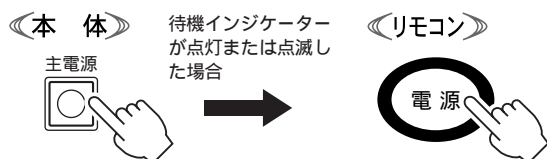
ホームシアターサウンドシステムを楽しむ

ここでは、テレビ、ビデオデッキ、DVDプレーヤー、衛星チューナー、テレビゲーム機などの音声をホームシアターサウンドシステムVS-10で楽しむための入力切り換え、音量調節について説明します。

あらかじめ再生する機器およびテレビの電源を入れてから、次の手順にしたがって操作してください。



1 本体の主電源キーを押してから、リモコンの電源キーを押して電源を入れる



待機インジケータが点灯または点滅しているときは、リモコンの電源キーで電源が入ります。また、電源キーの代わりに本体の入力切換キーでも電源を入れることができます。

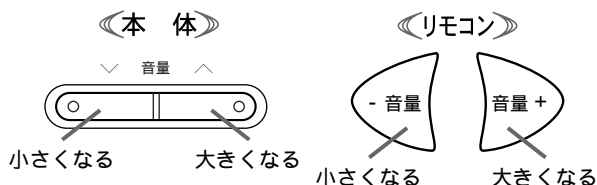
- 本機は主電源が切られるときの状態を記憶しています。待機インジケータが点灯しているときに本体の主電源キーで電源を切ると、次に主電源を入れたとき、本機は待機インジケータが点灯している状態になります。また、電源が入っている（待機インジケータが消えている）ときに本体の主電源キーで電源を切ると、次に主電源キーを入れたとき、本機は電源が入った状態になります。

2 入力切換キーを押す



押すたびにビデオ1→テレビ→ビデオ2→デジタル1→デジタル2の順序で切り換わります。

3 音量 + または - キーで音量を調節する



音量 + キーを押すと音が大きくなり、
- キーを押すと小さくなります。

！ ご注意 ！

リモコン切換キーでテレビ、ビデオなど他の機器を選んでいるときは、リモコンで本機を操作することはできません。リモコン切換のVS10キーを押してから操作してください。

操作のしかた

入力モードを切り換える

デジタル1およびデジタル2端子に接続した機器の入力モードを「オートモード」または「dts コテイ」に切り換えることができます。

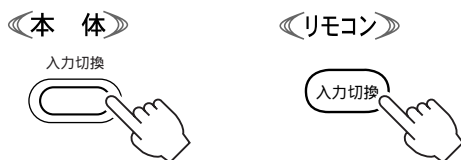
オートモード：CDなどのPCM信号、ドルビーデジタル信号、dts信号を自動的に判別します。

dts コテイ：dts信号に固定します。

通常は「オートモード」の設定で再生できますが、「オートモード」でdts対応のCDを再生すると、最初に本機がdts信号を識別してdtsデコーダーが作動するまでの少しの間、ノイズが発生することがあります。故障ではありませんがこれを避けるためには入力モードを「dts コテイ」にしてください。

dts対応のCDを「オートモード」で再生し、停止すると、その後約30秒間はCDなどのPCM信号を再生しても音が出ず**dts**インジケーターが点滅します。この状態は約30秒経過すると解除されます。

- 1 入力切換キーを押して、デジタル1またはデジタル2を選びます。



- 2 もう一度入力切換キーを約3秒間押し続けて、入力モードを切り換えます。

入力切換キーを押し続けるごとに「dts コテイ」と「オートモード」が切り換わり、次のように表示されます。

「D1 ← dts コテイ」 ↔ 「D1 ← オートモード」

- 入力がデジタル1のときは「D1」が、デジタル2のときは「D2」がモード名の前に表示されます。
- **dts** インジケーターは「dts コテイ」に設定すると常時点灯し、「オートモード」に設定するとdts信号を入力していないときは消えます。
- 電源を切ると、入力モードの設定は「オートモード」に戻ります。

- dts対応ソフトを再生するときは、必ずデジタル入りに接続してください。
- DVDプレーヤーなどから出力されるdts信号に何らかの処理がされている場合、本機とデジタル接続されていても再生できないことがあります。

！ ご注意 ！

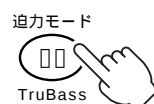
CDやMDは音の強さの変化範囲が広がっています。小さな音から大きな音に急激に変化する音楽などを大きな音量(最大レベル付近)で長時間再生すると、スピーカーを破損する恐れがあります。

便利な機能を使う

再生中に使える便利な機能

A 低音の迫力をアップする

迫力モードキーを押します。



表示窓のTRUBASS*が点灯します。低音が強調され、サウンドの迫力が増します。また、別売のスーパーウーファーSW-VS10を接続している場合は、スーパーウーファーの低音も強調されます。迫力モードをやめるには：迫力モードキーをもう一度押します。

- ヘッドホンを接続している場合は、迫力モードにはなりません。

* (●)TruBass™

TruBassと(●)記号は米国と選択された諸外国におけるSRS Labs, inc.の商標です。TruBass技術はSRS Labs, inc.からのライセンスにより製品化されています。

B 小さな音量でもメリハリのきいた音で楽しむ

小音量モードキーを押します。

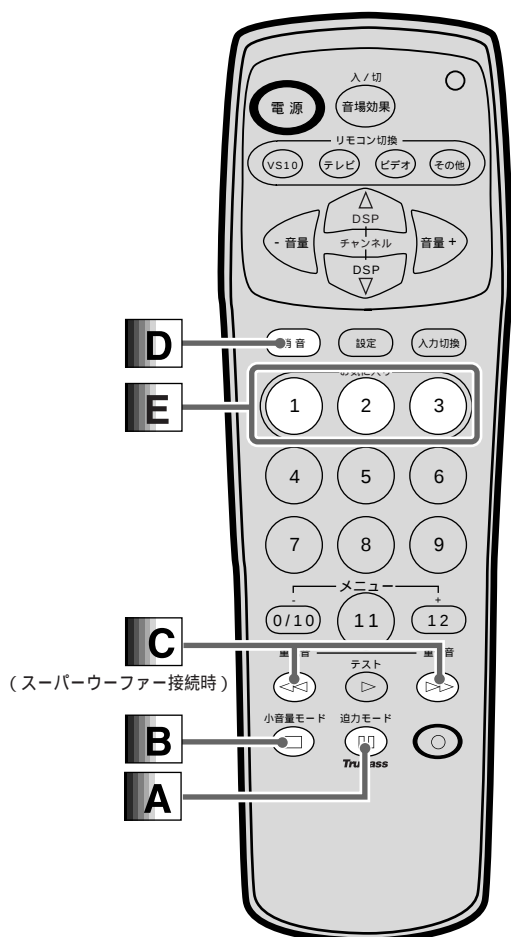


音がよりクリアに聴こえます。夜間など、大きな音量を出しにくいときにお使いください。

小音量モードをやめるには：

小音量モードキーをもう一度押します。

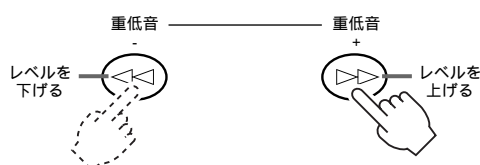
- ヘッドホンを接続している場合は、小音量モードにはなりません。
- このキーでは音量を小さくできません。音量を小さくするには音量 - キーを押してください。



便利な機能を使う

C スーパーウーファースのレベルを調節する

スーパーウーファースをつないでいる場合は、レベルを調節することができます。
レベルを上げるには重低音+キーを、下げるには重低音-キーを押します。



調節できるレベルの範囲は - 20dB から + 10dB です。

D 一時的に音を小さくする

消音キーを押します。



音を消しているあいだは、「*ショウオン*」が表示されます。

もとの音量に戻すには：

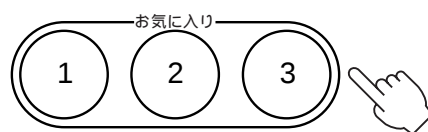
もう一度消音キーを押します。また、音量+/-キーを押しても消音は解除され、音量を調節することができます。

E 好きな設定を呼び出す

お気に入りキー(1、2、3)のそれぞれに、入力とその時に選んでいた音場プログラム、スーパーウーファースレベル、迫力モード、小音量モードの設定を記憶させると、いつでも呼び出すことができます。

お気に入りキーに記憶させるには：

記憶させたいキー(1、2または3)を約3秒間押し続けます。



選んだキーの数字が「オキニイリ」のあとに表示され、今の設定が記憶されます。

例：お気に入りキー1を押すと、「オキニイリ 1」と表示されます。

お気に入りを呼び出すには：

設定を記憶させたキー(1、2または3)を押します。選んだキーの数字が「オキニイリ」のあとに表示され、お気に入りの設定に切り換わります。

- 3秒以上キーを押していると、そのときの各設定が記憶され、以前に記憶した設定は消えてしまいます。

お気に入りを消去するには：

設定を消したいキー(1、2または3)を約10秒間押し続けます。選んだキーの数字が「オキニイリ クリアー」のあとに表示され、記憶されていた設定が消えます。(キーを押すと約3秒後に「オキニイリ 1(または2、3)」と表示されますが、そのまま押し続けてください。)

- 表示が「オキニイリ」から「オキニイリ クリアー」に変わる前にキーを押すのをやめると、そのときの各設定が記憶されます。

音場プログラムについて

8種類の音場プログラムの中から再生するソースに合ったプログラムを選ぶだけで、映画館やコンサートホールで体験するような臨場感を味わうことができます。ドルビーデジタル、ドルビープロロジック、dtsやヤマハCINEMA DSP(デジタルサウンドフィールドプロセッサー)の世界をお楽しみください。

音場プログラムの種類

本機だけを接続している場合

No.	プログラム名	特長および最適ソース
1	バーチャルサラウンド (ドルビーデジタル、ドルビーサラウンド、dts入力するとき)	メインスピーカーのみで、ドルビーデジタル、ドルビープロロジックまたはdtsに迫る仮想サラウンド音場を楽しめます。
4	ゲーム	サウンドに奥行きとサラウンド感を持たせることで、ゲームをよりリアルで迫力あるものに演出します。
5	ホール	豊かな響きを持った音場です。大きな円形ホールの中心にいるかのようなサラウンドを体感できます。
6	コンサート/スポーツ	適用範囲の広い音場効果。残響音を比較的抑えているので、長時間使用しても違和感がありません。
7	モノムービー	古いモノラル音声映画専用のポジションです。

本機に別売ヤマハNX-SW10を接続している場合

No.	プログラム名	特長および最適ソース
1	バーチャルサラウンド (ドルビーデジタル、ドルビーサラウンド、dts入力するとき)	メインスピーカーのみで、ドルビーデジタル、ドルビープロロジックまたはdtsに迫る仮想サラウンド音場を楽しめます。
2	ドルビーデジタル (ドルビーデジタル入力するとき) ドルビープロロジック (ドルビーサラウンド入力するとき) dts (dts入力するとき)	ドルビーデジタル、ドルビープロロジックまたはdtsデコーダーで正確に処理されたムービーサウンドをストレートに再生します。
3	デジタルムービーシアター (ドルビーデジタル入力するとき) 70mmムービーシアター (ドルビーサラウンド入力するとき) dtsムービーシアター (dts入力するとき)	最新の映画のサウンドデザインをセリフと効果音に描き分け、映画館の臨場感あふれるサウンドを実現します。
4	ゲーム	サウンドに奥行きとサラウンド感を持たせることで、ゲームをよりリアルで迫力あるものに演出します。

音場プログラムについて

No.	プログラム名	特長および最適ソース
5	ホール	円形ホールをイメージさせる広大な音場で、全周囲に反射音が拡がり、サラウンド感が強く、豊かな響きが特長です。
6	コンサート/スポーツ	バラエティーや中継番組など、適用範囲の広い音場効果。残響音を比較的抑えているので、長時間使用しても違和感がありません。
7	モノムービー	古いモノラル音声映画専用のポジションです。音場効果と適度な残響処理により、モノラル音声豊かな響きでよみがえります。

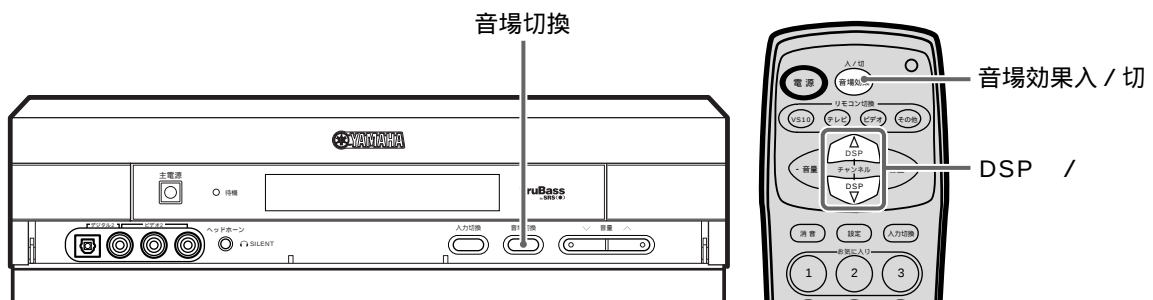
！ ご注意 ！

2チャンネルのソースを音場プログラムのゲームまたはホールで再生すると、別売NX-SW10を接続していてもセンタースピーカーからは音声が出ません。

ヘッドホンを接続している場合

No.	プログラム名	特長および最適ソース
8	サイレントシアター	ヘッドホンでも立体感のあるサウンドを楽しむためのプログラムです。DVDなどマルチチャンネルの映画ソフトに向いています。

音場プログラムを楽しむ



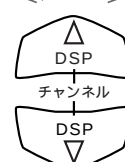
音場切換キー（本体）またはDSP / キー（リモコン）を押します。

《 本 体 》

音場切換



《 リモコン 》

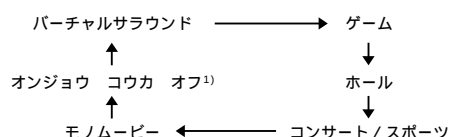


キーを押すごとに、音場プログラムが次のように切り換わり、いま選んでいる音場プログラムが表示されます。

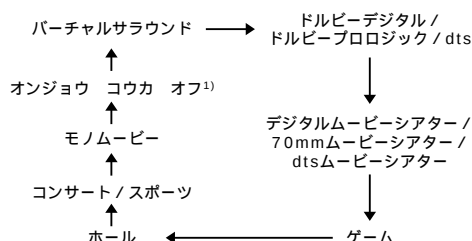
- リモコンのDSP / キーを押すと逆順で音場プログラムが表示されます。

音場プログラムについて

本機だけを接続している場合



本機に別売ヤマハNX-SW10を接続している場合



1) 本体の音場切換キーでのみ、「オンジョウ コウカ オフ」を経由します。

ヘッドフォンを接続している場合



お聴きになるソース(音源)の雰囲気にあった音場プログラムを選んでください。

- 入力ソース(ビデオ1/テレビ/ビデオ2/デジタル1/デジタル2)ごとに、最後に使用していた音場プログラムがメモリーされるので、入力を切りかえるごとに音場プログラムも自動的に切り換わります。

音場効果を切るには(リモコンの場合)

音場効果入/切キーを押します。

音場効果を切ると通常のステレオ再生になり、「オンジョウ コウカ オフ」と表示されます。

もう一度押すと音場効果がかけられます。

プロセッシングインジケータについて

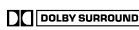
音場効果をかけて再生すると、入力信号の種類によってプロセッシングインジケータが点灯します。

DIGITAL : ドルビーデジタルでエンコードされた信号を再生すると点灯します。

PRO LOGIC : 音場プログラムNo. 2で再生しているとき、2チャンネルでエンコードされたドルビーデジタル信号、PCM信号、アナログ信号を再生すると点灯します。

dts : dtsエンコードされた信号を再生すると点灯します。

DSP : 音場プログラムNo. 3～7で再生しているとき点灯します。

- バーチャルサラウンド、ドルビーデジタル/ドルビープロロジック/dts、デジタルムービーシアター/70mmムービーシアター/dtsムービーシアターは、ビジュアルソフト   または  と表示されているドルビーエンコードソースの再生に最適なプログラムです。
- 実測された音場データを採用しているためソースによっては左右メインチャンネルの音量が異なる場合があります。(ドルビーデジタル、dtsを除く)
- 音場プログラムは名前にこだわらず、聴感上最も気に入ったものを選択してください。また、実際に聴くときは、プログラムの音場にリスニングルーム自体の響きが付加されます。プログラムの音場を楽しむには、リスニングルームをできるだけデッドに(響きが少なくなるように)調整しましょう。

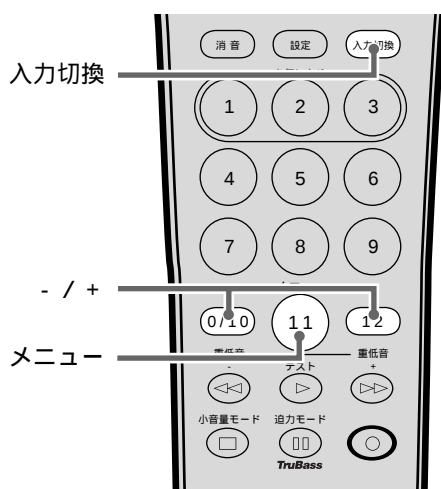
メモ

バーチャルサラウンドの音場プログラムで再生する場合、バーチャルサラウンド効果を最大限に発揮させるには、テレビの音量を絞ってください。

メニュー機能の設定

メニュー - 機能には、オートパワーオン/オフを設定する「オートパワー」、表示窓の明るさを調節する「ディーマー」、入力に名前をつける「インプットネーム」、センター音の遅延時間を調節する「センターディレイ」、サラウンド音の遅延時間を調節する「ディレイタイム」、日本語/英語表示を切り換える「ニホンゴ/エイゴ」があります。

メニューキーを押すたびに、「オートパワー」→「ディーマー」→「インプットネーム」→「センターディレイ」→「ディレイタイム」→「ニホンゴ/エイゴ」→入力表示、の順で切り換わります。



オートパワーオン/オフを設定する

オートパワーオンとは次の動作のことをいいます。

入力信号が無く、しかもキーを操作しない状態が30分続く



自動的に電源が切れるオートパワーオフ
(待機インジケータがゆっくり点滅する)



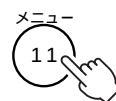
次に信号が入力されたときに自動的に電源が入る*
オートパワーオン
(またはリモコンの電源キー、本体の入力切換キーで電源を入れ直す)

* 本体の主電源キーで一度電源を切ってから再び入れた場合は、信号が入力されてから約5秒後に電源が入ります。

(停電が回復したときも、信号が入力されてから約5秒後に電源が入ります。)

オートパワーの感度の設定と、オートパワー - 機能をオフにする設定が選べます。

- 1 メニューキーを押して「オートパワー」を表示させます。



- 2 オートパワーオンに設定するとき：「オートパワー2」を+または-キーで選びます。
オートパワーをオフに設定するとき：「オフ」を-キーで選びます。



接続する機器の信号出力レベルによっては、オートパワー - 機能がうまく動作しないことがあります。このような場合は、下の表を参考にしてオートパワーの感度を変更してください。
+キーを押すと↓の順に、-キーを押すと↑の順に選べます。

表示	設定内容/症状
オフ	オートパワー - 機能を使用しない
1	信号が入ってもオートパワーオンがはたらかない、または信号が入っているのにオートパワーオフになってしまう場合
2	オートパワー機能を使用する場合の通常の設定
3	信号が入らなくてもオートパワーオンになってしまう、または信号が入らないのにオートパワーオフにならない場合



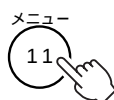
設定が終わったら
メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

メニュー機能の設定

表示の明るさを調節する

コントロールセンターの表示の明るさを調節できます。

- 1 メニューキーを押して「ディマー」を表示させます。



現在設定されている明るさが(ディマー: ±0 など)表示されます。

- 2 - または + キーを押して調節します。
- キーを押すと暗くなり、+ キーを押すと明るくなります。



- 3(いちばん暗い)から + 3(いちばん明るい)まで調節できます。+ 3(いちばん明るい)の設定は、本機を操作した直後の表示の明るさと同じです。

設定が終わったら

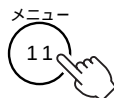
メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

入力に名前をつける

ビデオ2、デジタル1およびデジタル2に名前をつけることができます。(テレビ、ビデオ1の入力名は変えることができません。)

どの入力端子に何の機器をつないでいるかがすぐにわかるような名前をつけると、入力を選ぶときに便利です。たとえば、ビデオ2端子にテレビゲーム機をつないでいるときは「ゲーム」、デジタル1端子にDVDプレーヤーをつないでいるときは「DVD」などを選ぶと良いでしょう。

- 1 メニューキーを押して「インプットネーム」を表示させます。



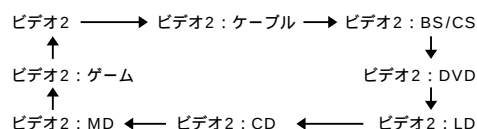
- 2 入力切換キーを押して、名前をつける入力(ビデオ2、デジタル1または2)を選びます。



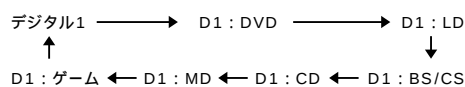
- 3 - または + キーを押して名前を選びます。



手順2でビデオ2を選んだときは、+ キーを押すと次の順で名前が表示されます。



手順2でデジタル1または2を選んだときは、+ キーを押すと次の順で名前が表示されます。



デジタル1のときは「D1:」、デジタル2のときは「D2:」が名前の前に表示されます。

- - キーを押すと逆順で名前が表示されます。

手順1～3を繰り返してビデオ2、デジタル1およびデジタル2に名前をつけることができます。

設定が終わったら

メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

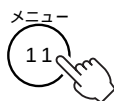
メニュー機能の設定

センターディレイタイムを調節する

音場プログラムがサイレントシアター以外のとき、センターディレイタイムを調節できます。センターディレイタイムとは、メインスピーカーの音が出てからセンタースピーカーの音が出るまでの時間差のことで、これを調節してセンターチャンネルの音の出力をメインチャンネルの音より遅らせることができます。

センタースピーカーを左右メインスピーカーと同一線上に設置する場合など、センタースピーカーとの距離が短い分、センターの音がメインの音よりも早く聞こえてしまうときに調節してください。センターチャンネルの音を遅らせて、メインの音と同時に視聴位置に届くように調節することで、音のずれが解消されます。センターディレイの値を1ms増やすごとにセンタースピーカーの位置を約30cm仮想的に遠ざけることができます。

- 1 メニューキーを押して「センターディレイ」を表示させます。



- 2 - または+キーを押してセンターディレイタイムを調節します。



調節できる範囲
0ms ~ 5ms

設定が終わったら
メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

ディレイタイムを調節する

音場プログラムがバーチャルサラウンド、ドルビーデジタル/ドルビープロロジック/dts、サイレントシアターのとき、ディレイタイム(メインチャンネルの音が聞こえてからサラウンド音が聞こえるまでの時間)を調節できます。

ディレイタイムを長めに設定すると、音場空間が大きく感じられ、短めに設定すると小さく感じられます。

- 1 メニューキーを押して「ディレイタイム」を表示させます。



- 2 - または+キーを押してディレイタイムを調節します。



調節できる範囲

ドルビーデジタル(2ch以外)

dts入力するとき: 0 ~ 15ms

上記入力以外するとき: 15 ~ 30ms

- ディレイタイムのレベルはすべて連動して調節されます。例えばドルビーデジタル(2ch以外)dts入力のディレイタイムを0ms(最少値)から5msにすると、それ以外の信号入力は自動的に15ms(最少値)から20msになります。

設定が終わったら

メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

日本語 / 英語表示を切り換える

- 1 メニューキーを押して「ニホンゴ / エイゴ」を表示させます。



「ニホンゴ センタク」が表示されます。

- 2 英語表示にするには、- または+キーで「English Sel.」を選び、日本語表示にするには、「ニホンゴ センタク」を選びます。



- または+キーを押すたびに「English Sel.」と「ニホンゴ センタク」が切り換わります。

設定が終わったら

メニューキーを押します。入力表示に戻ります。

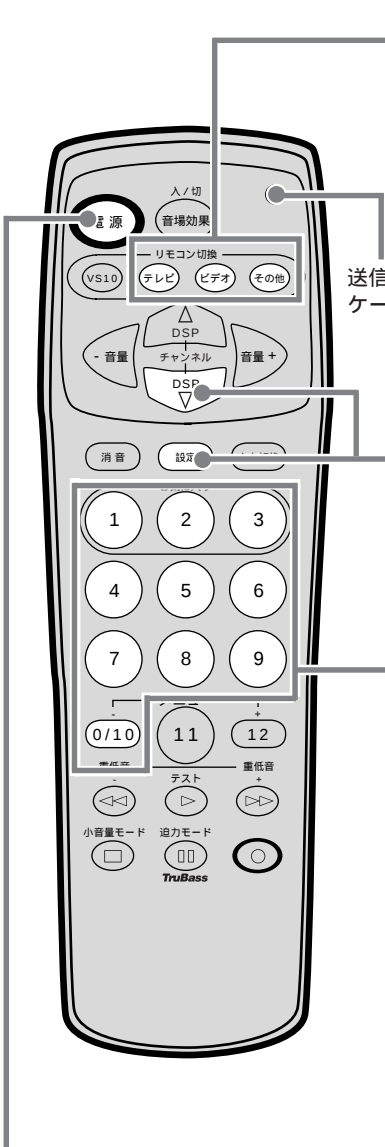
テレビ、ビデオなどをリモコンで操作する

お使いのテレビやビデオ、一部のケーブルチューナーのメーカーコードをプリセットすると、本機とあわせてお使いになる機器をリモコン操作することができます。

！ ご注意 ！

他社のメーカーコードをプリセットしても、機種によっては操作できないもの、または限られた機能しか操作できないものがあります。この場合は各機器専用のリモコンをお使いください。

コードをプリセットする



1 メーカーコードをプリセットするリモコン切替キー（テレビ、ビデオ、その他）を押す

テレビ ビデオ その他

VS10キーには本機を操作するための信号がすでにプリセットされているので、テレビ、ビデオおよびその他キーにのみメーカーコードをプリセットできます。テレビキーにはテレビ、ビデオキーにはビデオデッキ、その他キーにはケーブルチューナーのコードをそれぞれ1つずつプリセットすることができます。

2 設定キーを押しながら送信インジケータが点灯するまでDSP キーを押す

設定 + DSP → 点灯する

3 機器のメーカーコード（4桁）を数字キーを押して入力する

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0/10 11 12

消える

コードはゆっくり確実に入力してください。正しくプリセットされると、送信インジケータが消えます。（点滅して消えたときは正しくプリセットされていません。）

- メーカーコードについては32ページをご覧ください。
- 数字キー0/10は0として使います。11、12のキーはプリセットでは使えません。

4 電源キーを押して、コードをプリセットした機器の電源を入/切し、正しくプリセットされたことを確認する

！ ご注意 ！

その他キーにプリセットしない場合は「VS10」キーと同じはたらきをするので、本機をリモコン操作するための切替キーとしてお使いください。

テレビ、ビデオなどをリモコンで操作する

プリセットするときの注意

メーカーコードが正しくプリセットされると、送信インジケータが消えます。

送信インジケータが消えないとき、
または点滅してから消えたとき



手順1から操作をやり直す

操作をやり直すときは、次の点に注意してください。

- ・メーカーコード番号を確かめる。
- ・メーカーコードをプリセットするとき、リモコン切換キーを正しく選んでいるか、確かめる。
- ・複数のメーカーコードがある場合は順番に入れてみる。
- ・リモコンの電池をいったん取り出し、もういちど入れてから2分以内に行ってください。操作をやり直す。

メーカーコードをクリアするには

31ページの「コードをプリセットする」を行い、手順3で次のコードを入力します。

テレビキーをクリアするには：0000

ビデオキーをクリアするには：0000

その他キーをクリアするには：0000

テレビ、ビデオおよびその他キーすべてをクリアするには：9990

メーカーコード一覧表

下表のメーカー製品であっても形式、年式によって使用できないものがあります。

また、他社のメーカーコードをプリセットした場合、機種によっては操作できないもの、または限られた機能しか操作できないものがあります。

複数のメーカーコードの内、一つをプリセットして操作に不具合が出た場合は、他のコードをお試しください。

テレビ

日立	1351、0181、0351、0571、0581、0691、0701、0711、0871、0941、0971
三菱	1381、0221、0321、0561、0571、0661、0861、1031、1101
NEC	1321、0241、0351、0361、0661、0971、1031、1111、1711
パナソニック	1311、1371、1431、0101、0191、0251、0751、1041
パイオニア	1331、0511、0551、0871
シャープ	1271、1241、0461、0471、0541、0661、0911、0941、1141
ソニー	1281、1441、0371、0451、0661、0841、0951
東芝	1301、0381、0521、0621、0661、0931、0981、
ビクター	1211、1201、1221、0651
ヤマハ	1381、1271、0221、0361、0571、1031、1111、1141
サンヨー	1231、1251、1261、0171、0231、0271、6661、0801、0911、0981

ビデオデッキ

日立	0102、0562、0572、0582、0592、0602、0992
三菱	0452、0462、0542、0762、0952、1082
NEC	0122、0202、0292、0422、0432、0542、0632
パナソニック	0012、0052、0092、0222、0372、0382、0392、0412、0932
サンヨー	0242、0612、0842、0902、0922
シャープ	0402、0472
ソニー	0032、0332、0352、0362、0672、0792、0932
東芝	0062、0302、0342、0522、0682、0712、0762
ビクター	0542、0552
ヤマハ	0202、0632、0762

ケーブルチューナー

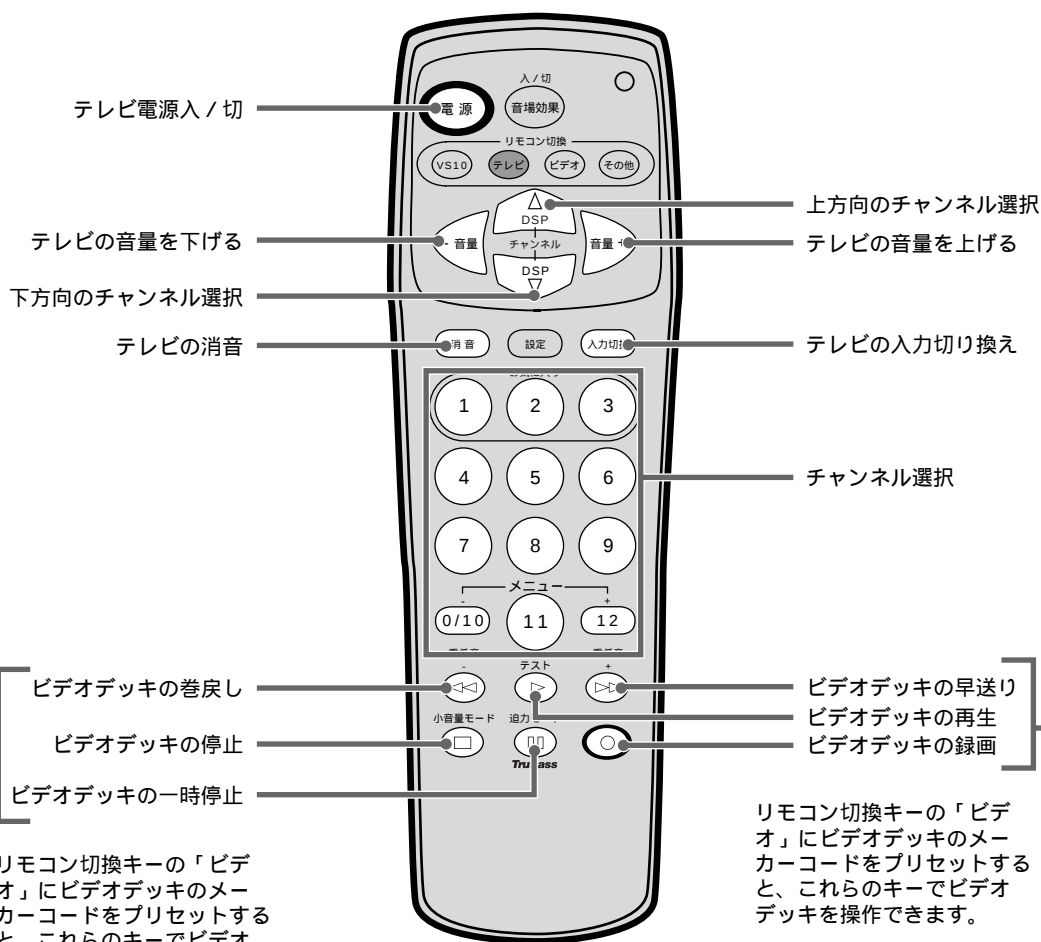
パナソニック	0474、0444、0464、0454
パイオニア	0004、0084、0844、0694、0554

テレビ、ビデオなどをリモコンで操作する

テレビを操作する

お使いになるテレビのメーカーコードをリモコン切換キーの「テレビ」にプリセットすると操作できます。

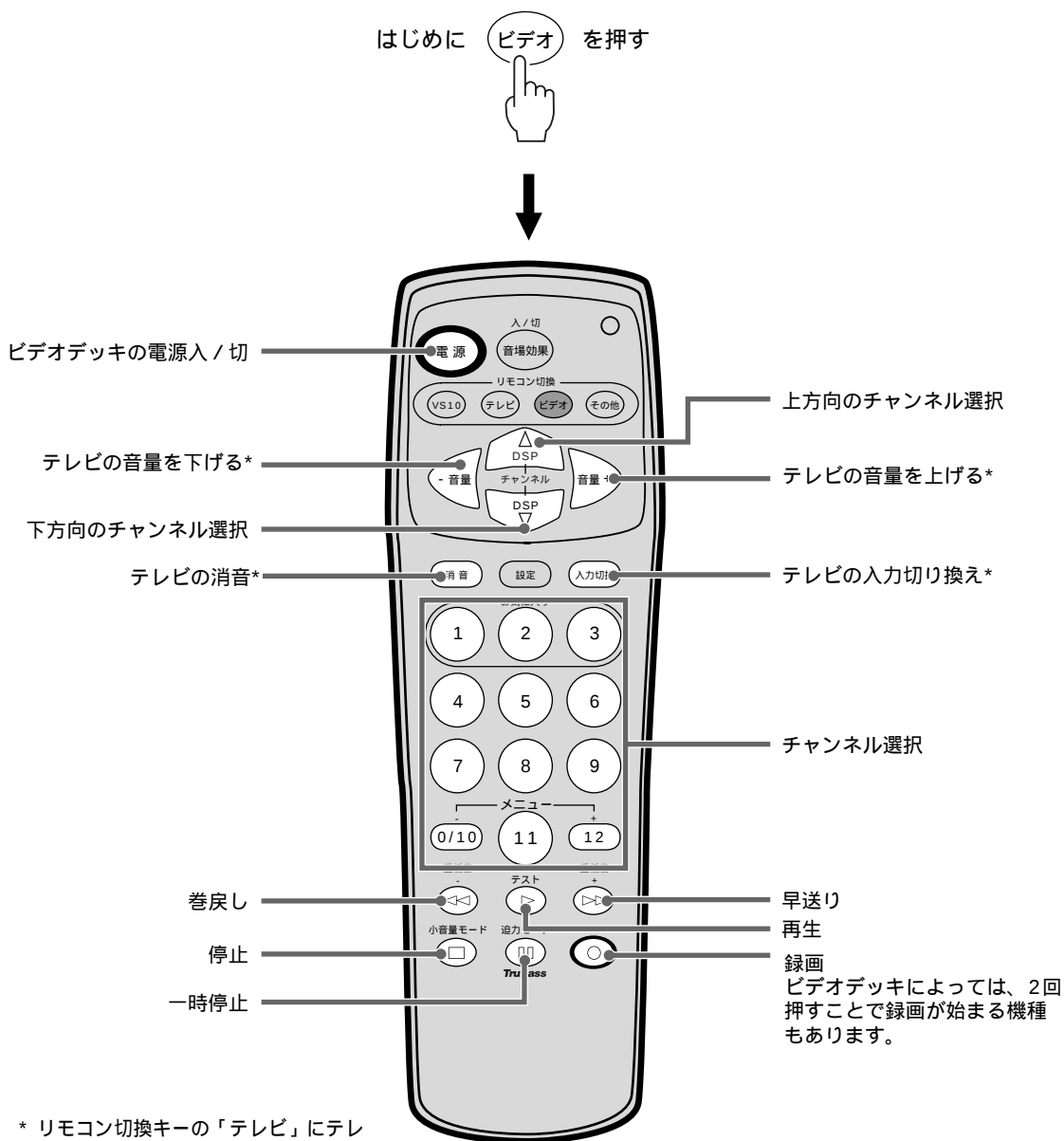
はじめに **テレビ** を押す



テレビ、ビデオなどをリモコンで操作する

ビデオデッキを操作する

お使いになるビデオデッキのメーカーコードをリモコン切換キーの「ビデオ」にプリセットすると操作できます。



* リモコン切換キーの「テレビ」にテレビのメーカーコードをプリセットすると操作できます。

用語解説

エンコード/デコード

信号や情報を加工、圧縮、デジタル化することをエンコードといいます。エンコードすることで、非常に多くの信号や情報量を一枚のCDやDVDなどに収録することができます。エンコードされた信号はそのままでは音として聞くことができません。これをもとの信号に戻すことをデコードといい、音として聞くことができます。

音場

音は発生源から直接人間の耳に届くだけでなく、壁や天井に反射してやや遅れて到達したり(初期反射音)、複雑に反射を繰り返しながら消えていったりします(後部残響音)。こうしたさまざまな音を聴くことで、人間はその場所の広さや形状を知覚することができます。このような建物などが持つ固有の音響空間を音場と呼びます。

ドルビーサラウンド

映画館や劇場では、観客席を取り囲む多くのスピーカーによって、シーンに合わせて前後左右に移動する効果音、体全体を包み込むような立体サウンドが楽しめます。こうした臨場感を実現するのがドルビープロロジックがデコードするドルビーサラウンド入力です。本来、ドルビーサラウンド方式は、左右フロント(2チャンネル)+センター(1チャンネル)+リア(1チャンネル)の合計4チャンネル構成ですが、家庭向けの放送メディアやビデオでも楽しめるよう、ステレオ(2チャンネル)との互換性が保たれ、ステレオ再生が可能なご家庭のAVシステムで手軽に楽しむことが大きな特長となっています。

ドルビーデジタル

「ドルビーデジタル」は、前方3チャンネル(レフト、センター、ライト)、後方2チャンネル(左右リア)の合計5チャンネルに低域効果音チャンネル「LFE(ロー・フリークエンス・エフェクト)」を加えた5.1チャンネルをデジタル圧縮技術を用いて完全に独立した音声として再生するものです。従来の「ドルビーサラウンド」方式が前方3チャンネル、後方1チャンネルの合計4チャンネルを2チャンネルのステレオ音声にミックスして、マトリクス回路で分離するのに対して、各チャンネル間の音の分離に優れ、より立体的なサウンドが再生できます。

ドルビーデジタル・シアター・システムズ) デジタルサラウンド

ドルビーデジタルサラウンドは、アナログの映画音声に取って代わる6チャンネル方式のデジタルサウンドトラックとして開発された最新技術で、世界中の映画館に急速に普及しています。その厚みのある音と自然な空間表現を家庭でも楽しめるように、ドルビーテクノロジー社が家庭用システムを開発しまし

た。極めて劣化の少ないクリアな音質の6チャンネル(技術的にはレフト、ライト、センター、2つのリアチャンネルに、サブウーファー用LFE 0.1チャンネルを加えた5.1チャンネル)で、現在のホームシアターの5.1スピーカーシステムに対応します。

バーチャルサラウンド

私たちは、おもに左右の耳に音が届く時間差と音のレベルの違いを感じとることで、音がどの方向から聞こえてくるのかを認識します。バーチャル技術はこの耳の特性を応用したもので、DSP(デジタルサウンドフィールドプロセッサー)を使ったデジタル信号処理と左右のメインスピーカーによって行われますが、リスナーは2つのスピーカーとは別の方向にある仮想(バーチャル)スピーカーから音が聞こえるように感じます。これにより、あたかもリアスピーカーをくわえた5スピーカーシステムのようなサラウンド音場を体験できます。

ヤマハDSP(デジタルサウンドフィールド プロセッサー)

ヤマハでは、世界の著名なコンサートホールやオペラハウスなどで、反射音の方向・強さ・帯域特性・遅延時間などの音場情報を実際に測定し、その膨大なデータをROMに蓄積しています。

本機は、音場を再現するヤマハDSP(デジタルサウンドフィールドプロセッサー)を搭載、この音場実測データをもとに作成された音場プログラムを自由に選択し、コンサートホールやライブハウスの音場をリスニングルームに再現することができます。

映画製作者の意図するサウンドは、セリフは明瞭にスクリーン上に定位し、効果音はその奥、音楽はさらにその奥に拡がり、そしてサラウンドは視聴者を取り囲んでスクリーンの映像と一体になるようにデザインされています。

ヤマハDSPをAV再生用に進化させたプログラムが「CINEMA DSP」です。映画のサラウンドデコーダーであるドルビープロロジックやドルビーデジタル、DTSとヤマハDSPを融合し、映画のサラウンドを最良の状態でデザインするダビングステージ(最終的な映画のサウンドデザインを完成させるファイナルミックス)でのクオリティをご家庭に再現するサラウンド音場です。

CINEMA DSPの音場プログラムでは、左右のフロント、センターチャンネルにもヤマハDSP処理を加えることで、視聴者はセリフの実在感や効果音、音楽の奥行き感とともに、スムーズな音源の移動感とスクリーンまで回り込むサラウンド音場に包まれます。

故障かなと思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申しつけになる前にあらかじめお調べください。

- 本機を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源プラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

どんな状態ですか？	ここをおたしかめください	参照ページ
音が出ない。	● 電源コードが接続されていますか？ ● テレビやビデオデッキなどと正しく接続されていますか？ ● メインスピーカーと正しく接続されていますか？ ● 入力を間違えていませんか？ ● 消音になっていませんか？ ● ヘッドホンが接続されていませんか？	18 14～16 17 21 24 8
“ブーン”という雑音が入る。	● 電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。	18
待機インジケータがゆっくり点滅する。	● オートパワーオフになっています。 長時間使用しないときは、主電源を切ってください。	28
チューナーやテレビに雑音が入ったり、画像が乱れる。	● 室内アンテナを使ったチューナーやテレビを本機の近くに置いていませんか？屋外アンテナの使用をおすすめします。	-

● 音場プログラムを使うとき

どんな状態ですか？	ここをおたしかめください	参照ページ
映画のセリフなどが聞こえにくい。	● 音場プログラムの「ホール」や「コンサート/スポーツ」、「ゲーム」を使っていませんか？他のプログラムを選んでください。	25～27

● リモコンを使うとき

どんな状態ですか？	ここをおたしかめください	参照ページ
正しく動作しない。	● 乾電池が消耗していませんか？ ● 受信部に正しく向けていますか？ ● 受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ ● 受信部に強い日光や照明（インバーター蛍光灯など）があたっていませんか？ ● リモコンが他の機器に切り換えられていませんか？ ● 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ ● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか？	3 3 3 3 21 - 3
他の機器を操作できない。	● メーカーコードを正しくプリセットしていますか？	31

❗ ご注意 ❗

別売スーパーウーファー/センタースピーカー/リアスピーカーNX-SW10の修理・アフターサービスの際は、本機とともに持ち込みください。

仕様

コントロールセンター

■ アンプ部

定格出力

メイン 25W + 25W (1kHz、10% THD、6Ω)

S/N比 90dB(ビデオ1、IHF-A)

全高調波歪率 0.07%

(入力: ビデオ1、1kHz、10W/6Ω)

入力感度 / インピーダンス

..... ビデオ1、200mV / 50kΩ

■ ビデオ部

ビデオ信号 1V p-p / 75Ω

メインスピーカー

型式 2ウェイパスレフ型

スピーカー 10cm コーン、防磁型

2cm スーパーツイーター

最大許容入力 25W × 2

インピーダンス 6Ω

総合

電源/電圧 AC 100V 50/60Hz

消費電力 50W

待機電力 5.5W

寸法(幅)×(高さ)×(奥行き)

コントロールセンター

本体のみ 302 × 82 × 300mm

縦置き時(スタンド、パッド部含む)

..... 124 × 302.5 × 300mm

横置き時(パッド部含む) 302 × 88.5 × 300mm

メインスピーカー 125 × 185 × 145mm

重量

本体 4.7kg

メインスピーカー 1.4kg

付属品 リモコン × 1

単4乾電池 × 4

オーディオ接続コード(2ピン) 1.5m × 1

ビデオ接続コード 1.5m × 1

縦置きスタンド × 1

横置き用パッド × 4

縦置き用パッド × 2

簡易接続図 × 1

本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

* 「高調波ガイドライン」適合品とは、通産省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

- ・ 本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されており、従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカーをいためる原因となることがあります。
- ・ デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

索引

ア

インプットネーム→入力に名前をつける	29
衛星放送チューナーのつながりかた	15
オートパワーオン / オフの設定	28
お気に入りキー	24
音場の切換	26、27
音量の調節	21
音場プログラム	25、26

カ

コードのプリセット	31
コントロールセンターの設置	11、12

サ

シネマ DSP → 音場プログラム	25、26
重低音の調節	24
消音	24
小音量モード	23
スーパーウーファー、センタースピーカー、 リアスピーカーのつながりかた	18
スピーカーの配置	10
センターディレイタイム	30

タ

DVD プレーヤーのつながりかた	15
ディマー→表示窓の明るさの調節	29
ディレイタイム	30
デジタル入力端子	15、16
テストトーン	19
テレビゲーム機のつながりかた	16
テレビのつながりかた	14
電源コードのつながりかた	18
トゥルーベース→迫力モード	23
ドルビーデジタル、 ドルビープロロジック、dts	25 ~ 27、35

ナ

日本語 / 英語表示の切換	30
入力に名前をつける	29
入力の切換	21
入力モード切換	22

ハ

バーチャルサラウンド	25、27
迫力モード	23
ビデオカメラのつながりかた	16
ビデオデッキのつながりかた	14
表示窓	8
表示の明るさの調節	29

マ

メーカーコード	32
メインスピーカーのつながりかた	17
メニュー機能の設定	28

ラ

リモコンでテレビの操作	33
リモコンでビデオデッキの操作	34

ヤマハホットラインサービスネットワーク.....

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- 保証期間
お買上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
品番、製造番号は本機背面に表示してあります。
- スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL (053) 460-3451

AV・IT品質保証部 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488-5500

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気をを感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



テレビ（モニター）、DVDプレーヤー、衛星放送チューナー、ビデオデッキとのつながりかた

この図は、テレビ（モニター）に様々なオーディオ・ビデオ機器を接続するための接続図です。

接続対象機器:

- DVDプレーヤー
- 衛星放送チューナー
- ビデオデッキ
- テレビ（モニター）

接続方法:

- ビデオ信号:** DVDプレーヤーの「映像出力」ポートからテレビの「ビデオ1」ポートへ黄色いケーブルで接続します。
- オーディオ信号:** DVDプレーヤーの「光」ポートからテレビの「映像入力」ポートへ赤いケーブルで接続します。
- 衛星放送チューナー:** 「映像出力」ポートからテレビの「映像入力」ポートへ黄色いケーブルで接続します。
- ビデオデッキ:** 「映像出力」ポートからテレビの「映像入力」ポートへ黄色いケーブルで接続します。
- オーディオ信号:** ビデオデッキの「音声出力」ポートからテレビの「音声入力」ポートへ赤いケーブルで接続します。

付属品:

- オーディオ接続コード（2ピン）（1本）
- ビデオ接続コード（1本）

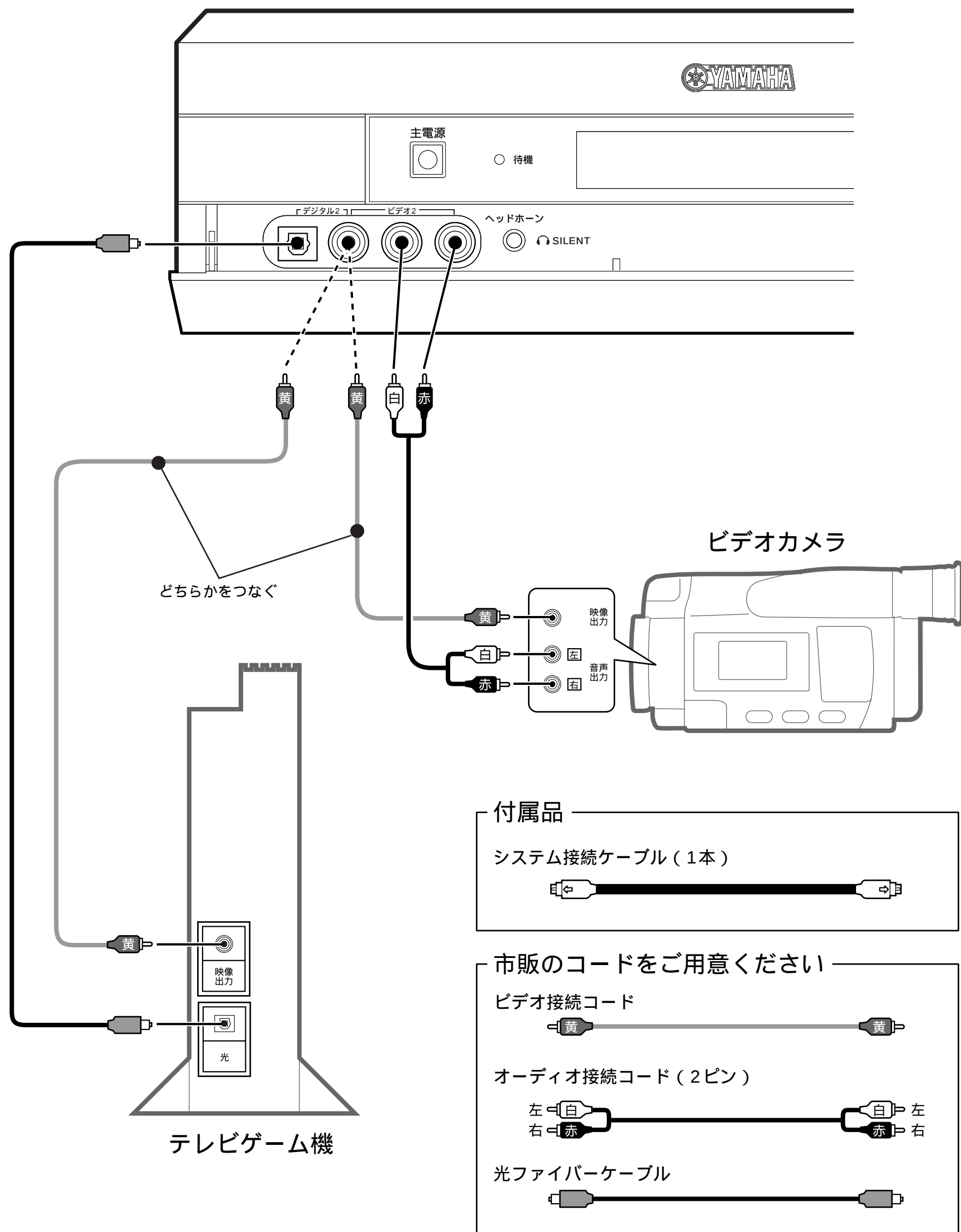
市販のコードをご用意ください:

- 光ファイバーケーブル

テレビ（モニター）の背面には、AC100V 50/60Hzの電源プラグと、非推奨最大200Vの電源プラグが挿入されています。

VS-10

ビデオカメラ、 テレビゲーム機のつなぎかた



メインスピーカー、別売ヤマハ NX-SW10 スーパーウーファー/センタースピーカー/リアスピーカー

